

# 君津市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 実態調査（アンケート）に係る分析結果報告書【概要版】

令和2年3月 君津市

## 目次

1 調査の概要	1
■ 調査の目的	1
■ 調査の対象者等	1
■ 調査の回収結果	1
2 調査の集計結果（主な設問の結果を抜粋）	2
（1）在宅介護実態調査	2
本人の基礎情報	2
■ 調査時の年齢	2
■ 要介護度	2
A票	2
■ 世帯類型（1つを選択）【問1】	2
■ 主な介護者の方の年齢（1つを選択）【問5】	3
■ 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方（複数選択可）【問7】	4
■ 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（複数選択可）【問9】	4
■ 施設等への入所・入居の検討状況（1つを選択）【問10】	6
B票	7
■ 主な介護者の方の現在の勤務形態（1つを選択）【問1】	7
■ 主な介護者の方における働き方の調整等（複数選択可）【問2】	7
■ 主な介護者の方における仕事と介護の両立（1つを選択）【問4】	8
■ 現在の生活の継続にあたり、主な介護者の方が不安に感じる介護等（3つまで選択可）【問5】	9
（2）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	10
■ 年齢【問1（2）】	10
■ 家族構成【問1（3）】	11
■ お住まいの地区【問1（4）】	11
■ 現在の暮らしの経済的な状況【問1（6）】	12
■ 運動機能のリスク判定	13
■ 閉じこもり傾向	14
■ 低栄養が疑われる高齢者	15
■ 口腔機能が低下している高齢者	15
■ どなたかと食事をともにする機会【問3（8）】	16
■ 生きがいの有無【問4（18）】	17
■ スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度【問5（1）②】	18
■ 自治会館等で実施する健康体操への参加頻度【問5（1）⑤】	18
■ 収入のある仕事への参加頻度【問5（1）⑧】	19
■ 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（いくつでも）【問6（5）】	20
■ 近所や地域の人に手伝ってほしいこと（いくつでも）【問6（9）】	21

■ ボランティア（有償含む）に手伝ってほしいこと（いくつでも）【問6（10）】	21
■ 現在のどの程度幸せですか【問7（2）】	22
■ 次の保健・福祉サービスで、知っているサービス（いくつでも）【問8（2）】	23
■ 次の保健・福祉サービスで、今後利用したいサービス（いくつでも）【問8（3）】	23
■ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無【問9（4）】	24
■ 認知症に関する窓口の認知状況【問9（5）】	24
■ 認知症の相談窓口と考えるところ（〇は3つまで）【問9（5）①】	24
■ 常に介護が必要になった場合、介護を受けて生活したいところ（〇は1つ）【問10（1）】	25
■ 介護保険料とサービス提供のあり方【問10（2）】	25
■ 今後、力を入れてほしい施策（〇は3つまで）【問10（5）】	26
（3）特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	27
■ この調査に回答される方（〇はひとつ）【問1】	27
■ 要介護度（〇はひとつ）【問2-3】	27
■ 現在の世帯構成（〇はひとつ）【問2-5】	27
■ 現在のお住まい（〇はひとつ）【問2-6】	28
■ 自宅で利用している介護サービス（〇はいくつでも）【問2-6-1】	29
■ 介護・介助が必要になった主な原因（〇はいくつでも）【問2-7】	29
■ 入所申込の理由（あてはまるものすべてに〇をして、最も大きな理由1つに◎）【問3-1】	30
■ 入所したい時期（〇はひとつ）【問3-5】	31
■ 入所を希望する居室のタイプ（〇はひとつ）【問3-6】	31
■ ご本人の施設入所に対する考え（〇はひとつ）【問3-11】	31
■ 自宅で安心して暮らすことができるために必要なサービス（〇はいくつでも）【問4-2】	32
■ 君津市の介護サービスの整備について（〇はひとつ）【問5-1】	33
■ 介護保険料と特別養護老人ホームの整備に関する考え方（〇はひとつ）【問5-2】	33
■ ご本人の介護を主に（一番長い時間）行っている方（〇はひとつ）【問6-1】	34
■ 介護に負担や悩みを感じる（〇はひとつ）【問6-5】	34
■ 負担や悩みを感じる（〇はいくつでも）【問6-5-1】	35
■ 介護をするなかで、充実を望むこと（主なもの3つまで）【問6-8】	35
（4）介護サービス事業者実態調査	36
■ 今後（令和5年度まで）の意向【問2-1（3）】	36
■ 新規事業に参入する際に課題となること（〇はいくつでも）【問2-3】	37
■ 職員数の過不足について（〇はひとつ）【問3-1】	37
■ 不足している職種（〇はいくつでも）【問3-3】	38
■ 人材確保に向けた取り組み（〇はいくつでも）【問3-5】	38
■ 介護人材の確保や定着などに向けて、あると良い行政の支援（〇はいくつでも）【問3-10】	39
■ 外国人介護人材の雇用（〇はひとつ）【問4-1】	40
■ 外国人介護人材の今後の受け入れ（〇はひとつ）【問4-3】	40
■ 不足しているまたは今後不足すると感じている介護サービス【問5-1（1）】	41
■ 君津市の高齢者向け福祉施策の評価（〇はひとつ）【問5-2】	42
■ 君津市の高齢者向け福祉施策に必要なこと（特に必要と思われること5つまでに〇）【問5-3】	42
■ 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題【問6-1】	43
3 調査結果の要点まとめ	45
（1）在宅介護実態調査	45
（2）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	45
（3）特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	45
（4）介護サービス事業者実態調査	45

# 1 調査の概要

## ■ 調査の目的

この調査は、令和3年度から始まる新しい高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定にあたり、65歳以上の市民やその家族等を対象に、日常生活や社会参加、介護予防の状況、支援のニーズ等を把握するほか、介護サービス事業者を対象に、施策・事業に対するご意見、今後の意向等を把握することを目的に実施しました。

## ■ 調査の対象者等

調査種別	対象者	調査方法	調査時期
①在宅介護実態調査	在宅で生活をし、介護保険の要支援・要介護認定を受けている方のうち、認定の更新（区分変更）申請をした方	戸別訪問	平成31年1月～令和元年12月
		郵送による配布・回収	令和2年2月～3月
②介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上で、介護保険の要介護1～5の認定を受けていない方	郵送による配布・回収	
③特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	令和2年1月時点で、特別養護老人ホームへ入所の申し込みをしている方	郵送による配布・回収	
④介護サービス事業者実態調査	市内で介護サービスを提供している法人	郵送による配布・回収	

## ■ 調査の回収結果

調査種別	対象数	回収数	無効	有効回収数	有効回収率
①在宅介護実態調査	訪問 367	訪問 367	—	訪問 367	訪問 100.0%
	郵送 600	郵送 281	—	郵送 281	郵送 46.8%
	計 967	計 648	—	計 648	計 67.0%
②介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,500 (※)	2,412	—	2,412	68.9%
③特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	179	104	—	104	58.1%
④介護サービス事業者実態調査	72	42	—	42	58.3%

※ 各日常生活圏域（君津地区、小糸地区、清和地区、小櫃地区、上総地区）で男女 各 350 人を無作為に抽出

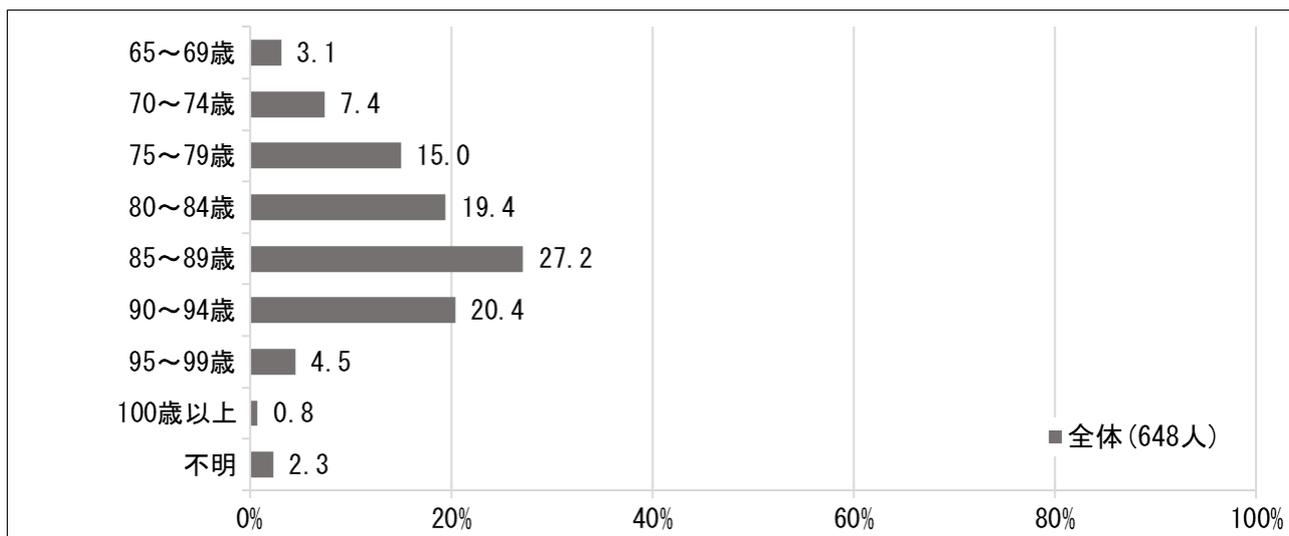
## 2 調査の集計結果（主な設問の結果を抜粋）

### （1）在宅介護実態調査

#### 本人の基礎情報

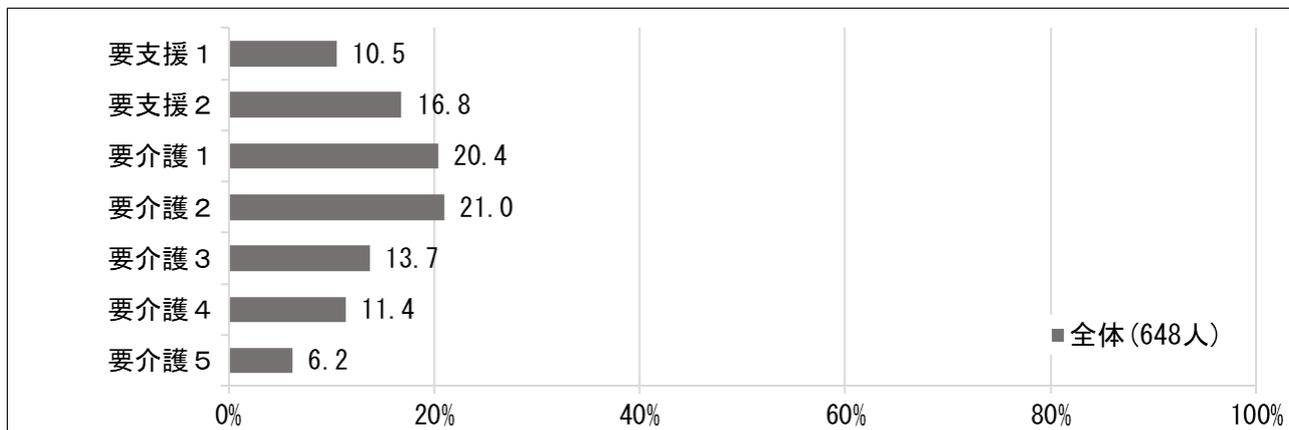
##### ■ 調査時の年齢

「85～89歳」が27.2%と最も高く、「90～94歳」が20.4%、「80～84歳」が19.4%、「75～79歳」が15.0%と続いています。



##### ■ 要介護度

「要介護2」が21.0%と最も高く、「要介護1」が20.4%、「要支援2」が16.8%、「要介護3」が13.7%と続いています。



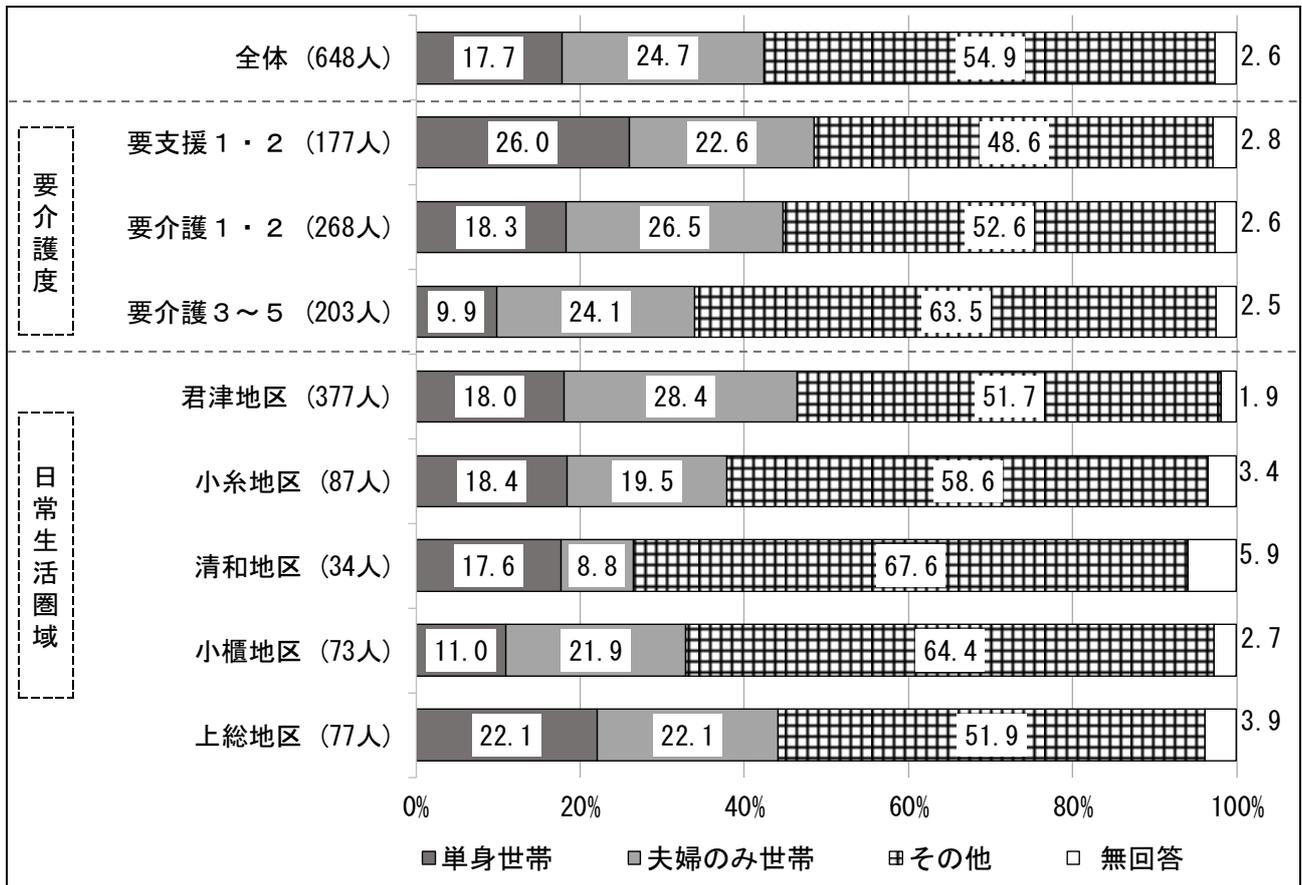
#### A票

##### ■ 世帯類型（1つを選択）【問1】

「単身世帯」が17.7%、「夫婦のみ世帯」が24.7%、「その他」が54.9%となっています。

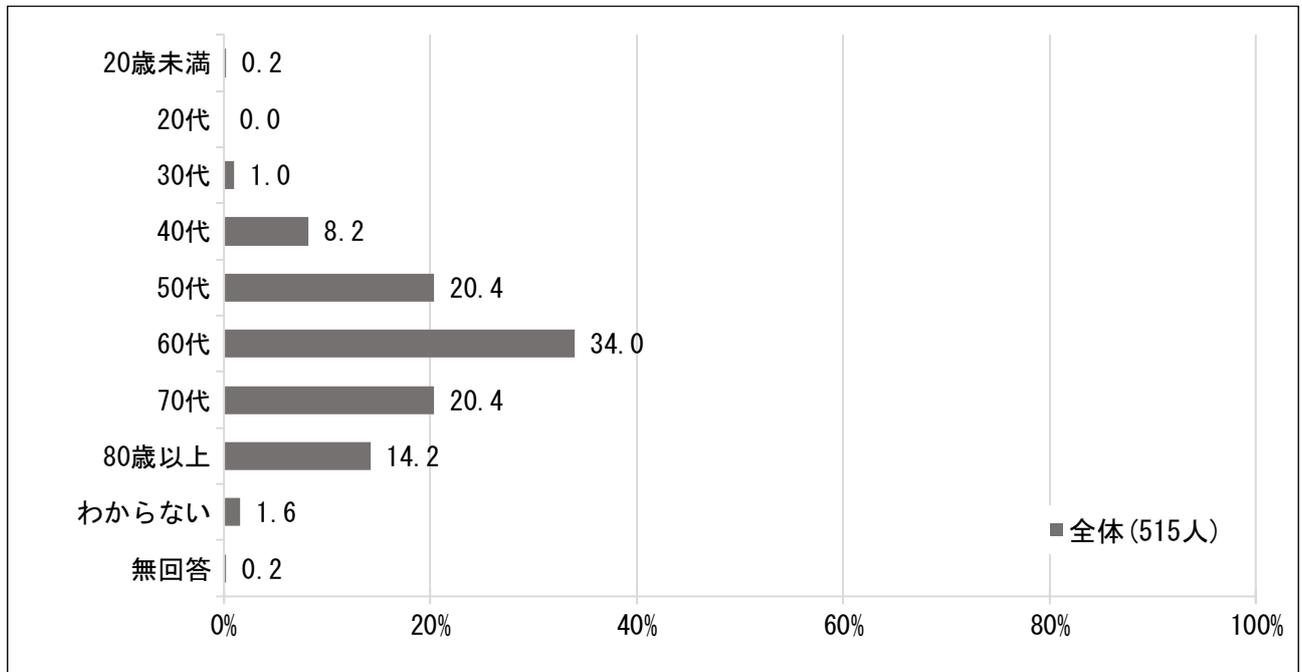
要介護度別でみると「単身世帯」は、要支援1・2で26.0%、要介護1・2で18.3%、要介護3～5で9.9%となっています。

日常生活圏域別でみると「単身世帯」は、小櫃地区で11.0%と低くなっており、最も割合の高い上総地区（22.1%）のおよそ半分の割合となっています。



### ■ 主な介護者の方の年齢（1つを選択）【問5】

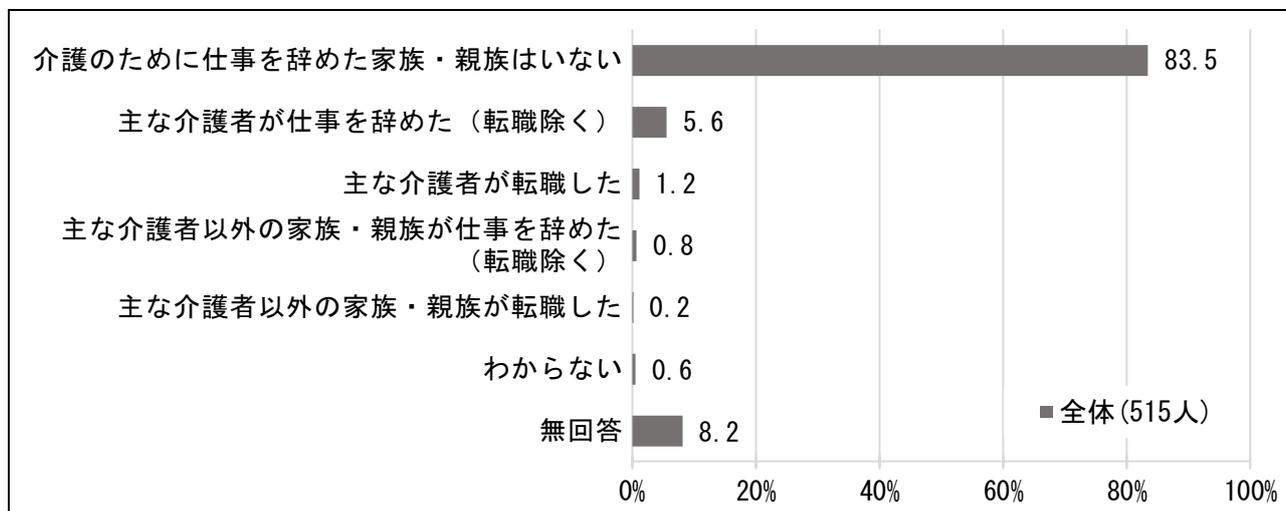
「60代」が34.0%と最も高く、「50代」と「70代」がそれぞれ20.4%、「80歳以上」が14.2%と続いています。



※問2で「ない」以外の選択肢を回答した方が対象

## ■ 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方（複数選択可）【問7】

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が83.5%と最も高くなっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（5.6%）、「主な介護者が転職した」（1.2%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（0.8%）の3つを合わせた“家族や親族の仕事に影響した”割合が7.6%となっています。

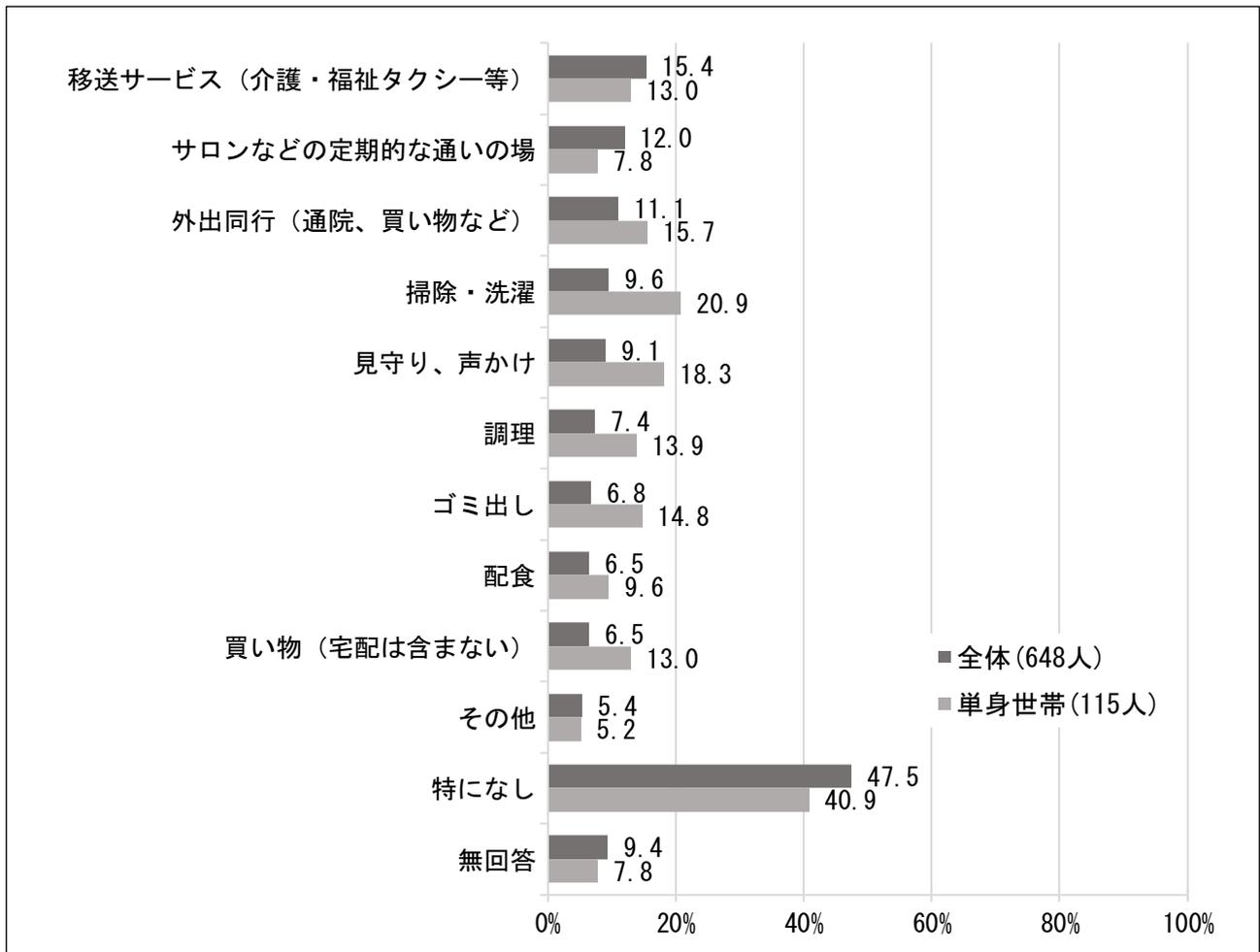


※問2で「ない」以外の選択肢を回答した方が対象

## ■ 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数選択可）【問9】

必要と感じる支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.4%と最も高く、「サロンなどの定期的な通いの場」が12.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が11.1%、「掃除・洗濯」が9.6%と続いています。また、「特になし」が47.5%となっています。

単身世帯の場合でみると、必要と感じる支援・サービスとしては、「掃除・洗濯」が20.9%と最も高く、「見守り、声かけ」が18.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.7%、「ゴミ出し」が14.8%と続いています。また、「特になし」が40.9%と全体と比べて低くなっています。



【日常生活圏域別 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 上位5つ】

日常生活圏域別でみると、上総地区以外では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が最も高くなっています。一方、上総地区では「サロンなどの定期的な通いの場」(18.2%)が最も高くなっています。

順位	君津地区(377人)	小糸地区(87人)	清和地区(34人)	小櫃地区(73人)	上総地区(77人)
第1位	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (17.0%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (17.2%)	配食 掃除・洗濯 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 見守り、声かけ サロンなどの定期的な通いの場 (14.7%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) (12.3%)	サロンなどの定期的な通いの場 (18.2%)
第2位	外出同行(通院、買い物など) (11.7%)	サロンなどの定期的な通いの場 (13.8%)		配食 掃除・洗濯 ゴミ出し 外出同行(通院、買い物など) (11.0%)	見守り、声かけ (11.7%)
第3位	サロンなどの定期的な通いの場 (10.9%)	買い物(宅配は含まない) 外出同行(通院、買い物など) (11.5%)			移送サービス(介護・福祉タクシー等) (9.1%)
第4位	掃除・洗濯 (9.3%)	掃除・洗濯 (10.3%)			外出同行(通院、買い物など) (7.8%)
第5位	見守り、声かけ (8.5%)				配食 他 (6.5%)

## ■ 施設等への入所・入居の検討状況（1つを選択）【問10】

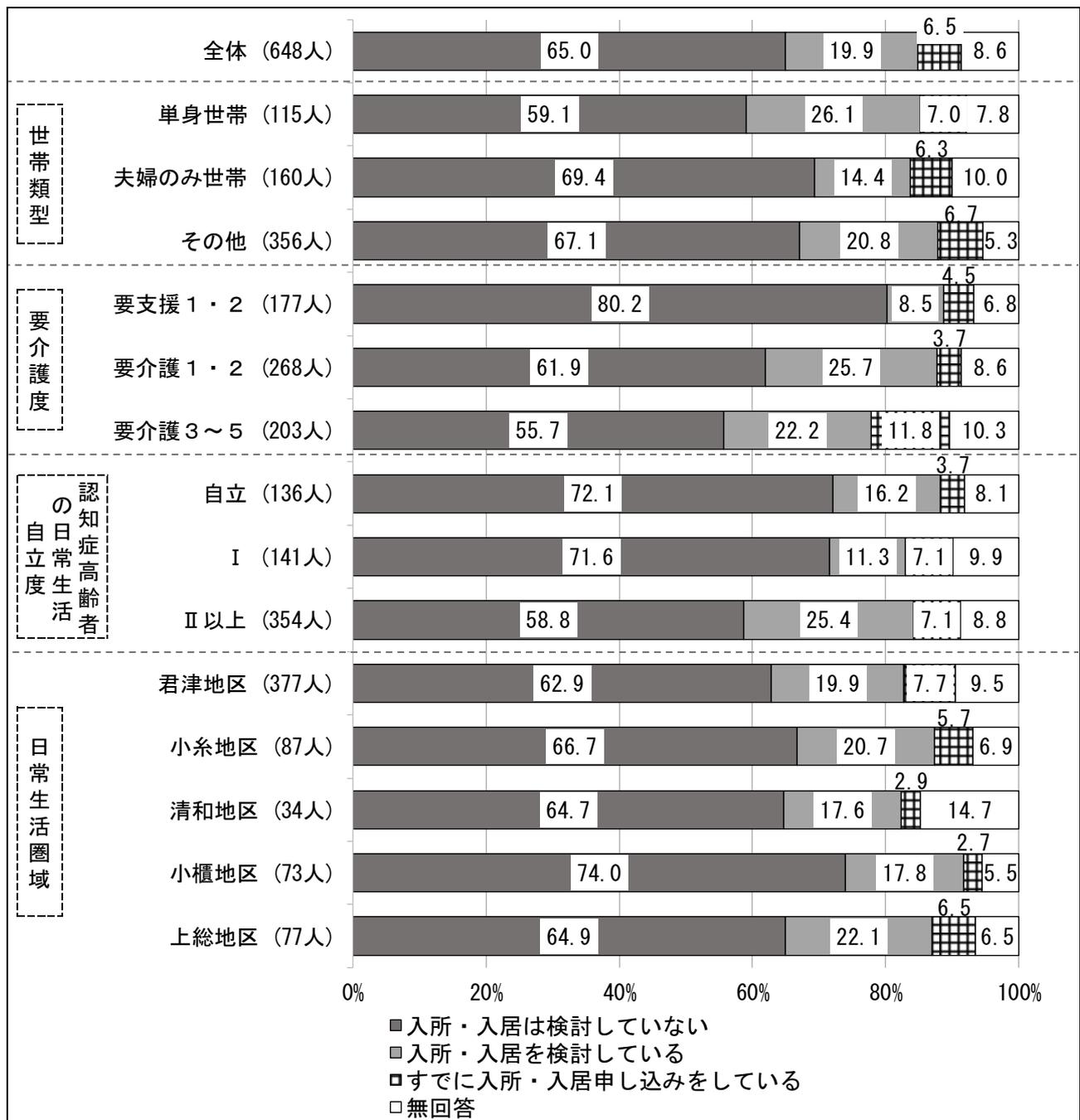
「入所・入居は検討していない」が65.0%、「入所・入居を検討している」が19.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.5%となっています。

世帯類型別でみると、「入所・入居を検討している」の割合は、単身世帯で26.1%、夫婦のみ世帯で14.4%と、単身世帯の方が入所・入居を検討している割合が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護3～5では「入所・入居を検討している」が22.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.8%となっています。

認知症高齢者の日常生活自立度別でみると、Ⅱ以上では「入所・入居を検討している」が25.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.1%となっています。

日常生活圏域別でみると、小櫃地区において「入所・入居は検討していない」が他の圏域と比較して高くなっています。

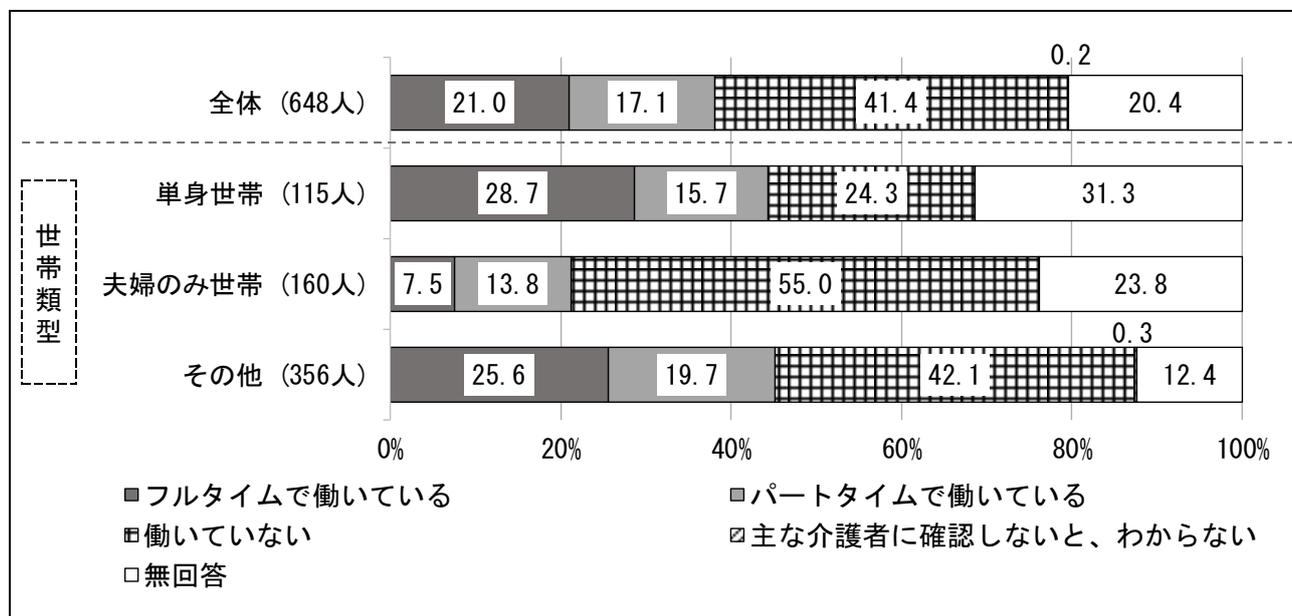


## B票

### ■ 主な介護者の方の現在の勤務形態（1つを選択）【問1】

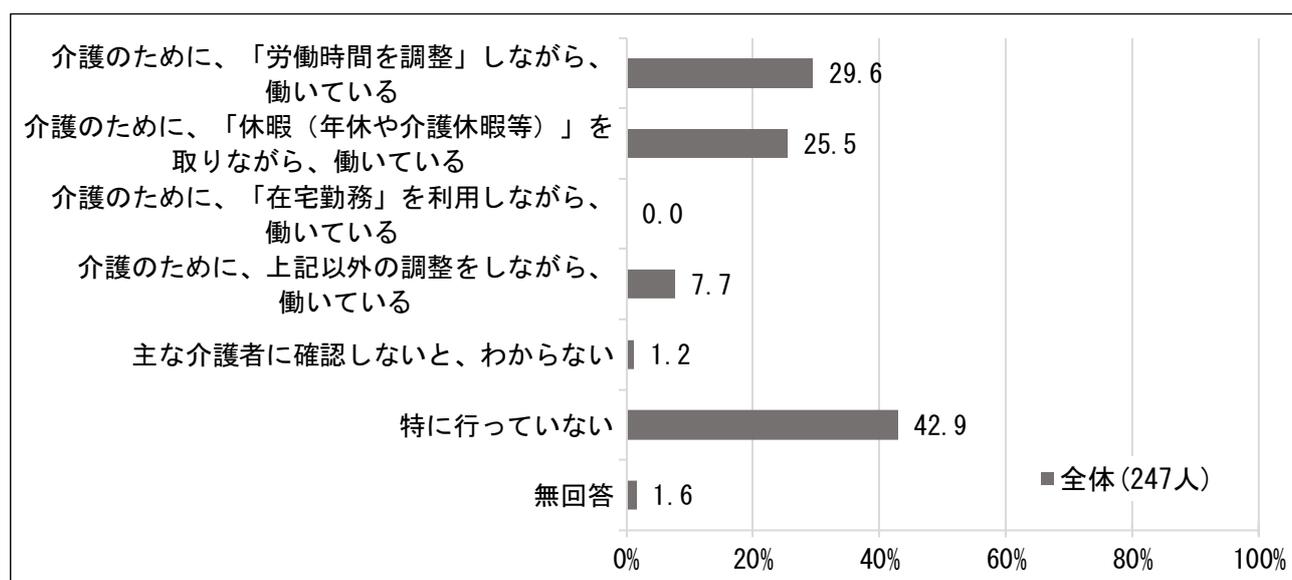
「働いていない」が41.4%と最も高く、「フルタイムで働いている」が21.0%、「パートタイムで働いている」が17.1%と続いています。

世帯類型別でみると、単身世帯では「フルタイムで働いている」が28.7%全体と比べて高くなっています。



### ■ 主な介護者の方における働き方の調整等（複数選択可）【問2】

「特に行っていない」が42.9%と最も高く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が29.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が25.5%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が7.7%と続いています。



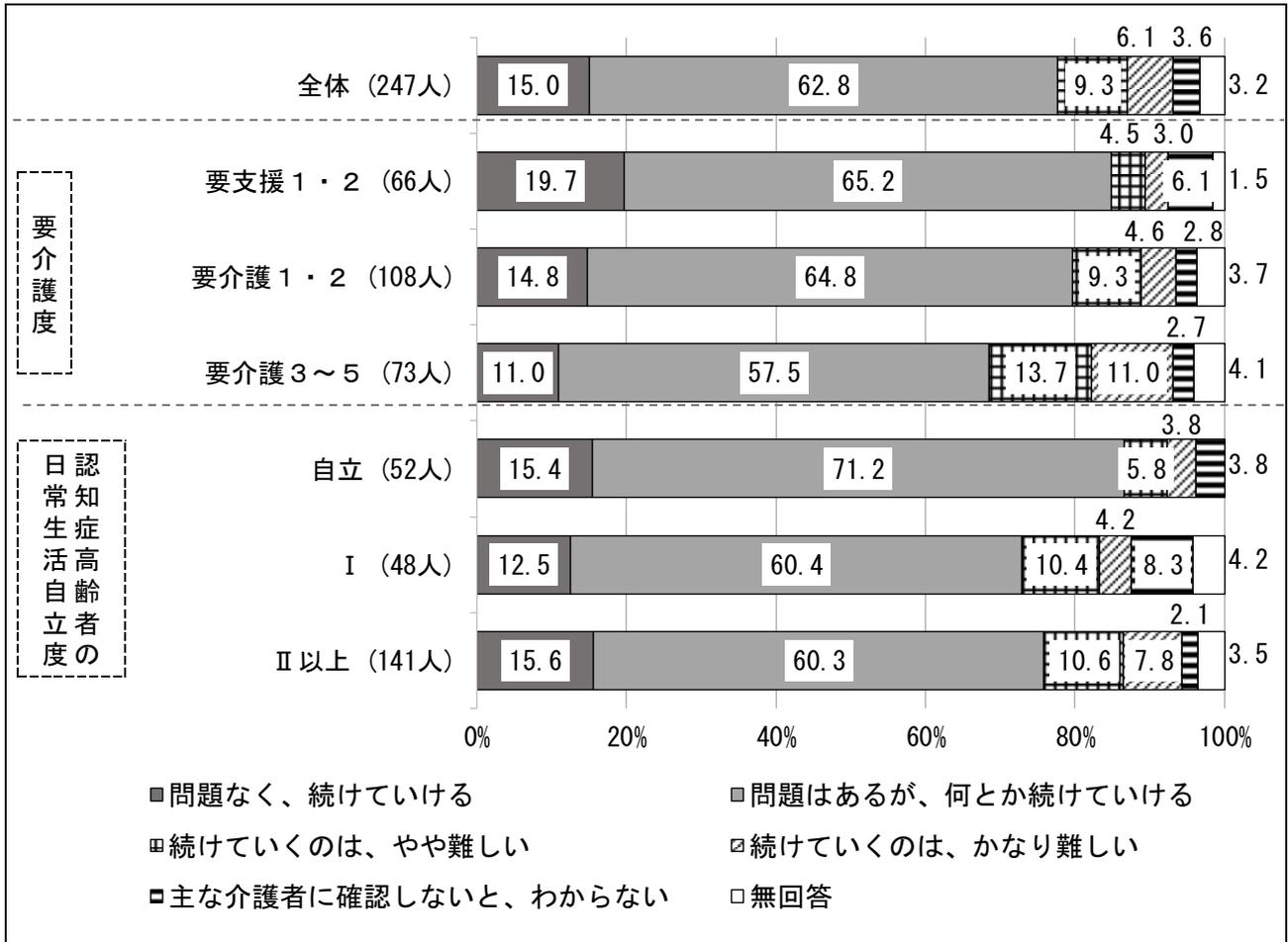
※問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方が対象

## ■ 主な介護者の方における仕事と介護の両立（1つを選択）【問4】

「問題はあるが、何とか続けていける」が62.8%と最も高く、「問題なく、続けていける」が15.0%、「続けていくのは、やや難しい」が9.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が6.1%と続いています。また、「問題はあるが、何とか続けていける」（62.8%）と「問題なく、続けていける」（15.0%）と合わせた“介護を続けていける”割合が77.8%となっています。

要介護度別でみると、「問題なく、続けていける」が要支援1・2では19.7%、要介護1・2では14.8%、要介護3～5では11.0%となっています。

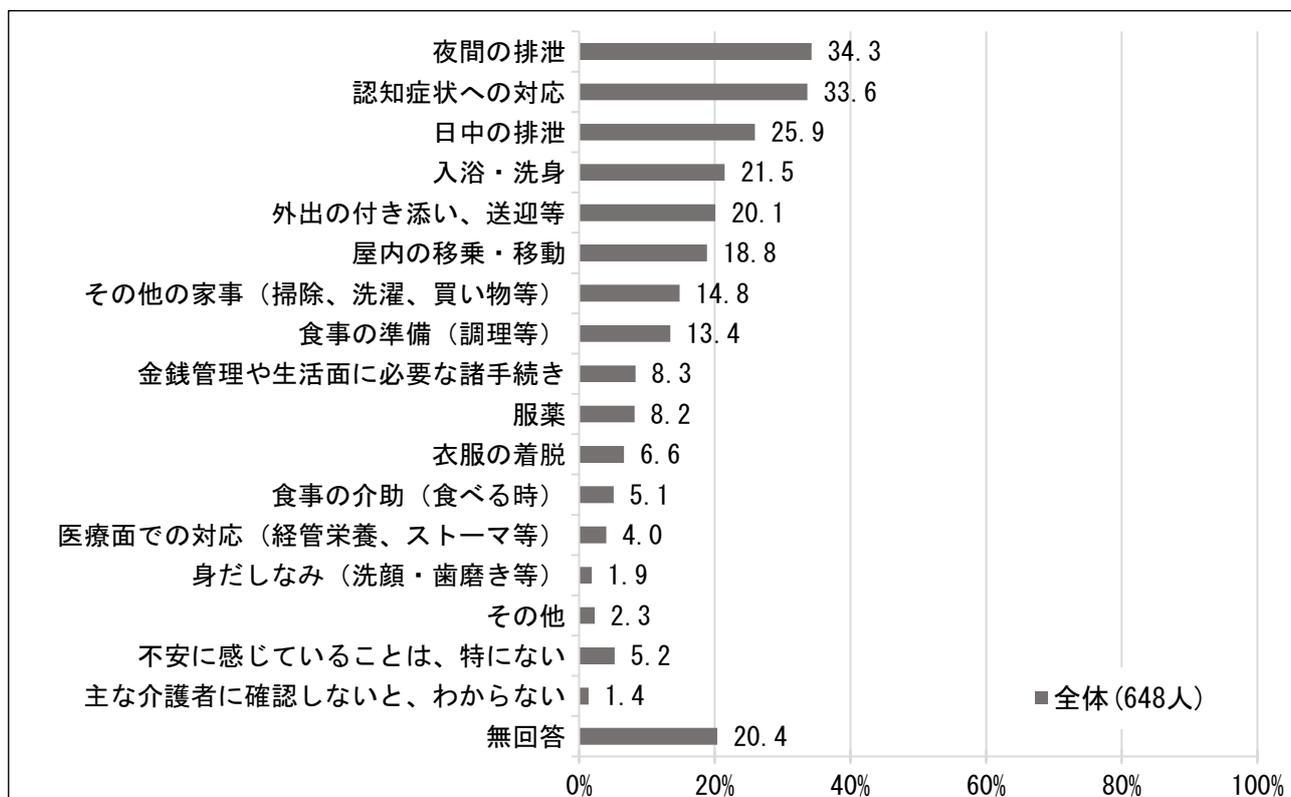
認知症高齢者の日常生活自立度別でみると、Ⅱ以上では「問題なく、続けていける」が15.6%、「問題はあるが、何とか続けていける」60.3%となっています。



※問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方が対象

■ 現在の生活の継続にあたり、主な介護者の方が不安に感じる介護等（3つまで選択可）  
【問5】

「夜間の排泄」が34.3%と最も高く、「認知症状への対応」が33.6%、「日中の排泄」が25.9%、「入浴・洗身」が21.5%と続いています。



【日常生活圏域別 主な介護者の方が不安に感じる介護等 上位5つ】

日常生活圏域別みると、清和地区においては「認知症状への対応」が上位に入らず、他圏域との傾向の違いがみられます。

順位	君津地区(377人)	小糸地区(87人)	清和地区(34人)	小櫃地区(73人)	上総地区(77人)
第1位	認知症状への対応 (33.4%)	認知症状への対応 (39.1%)	日中の排泄 屋内の移乗・移動 (32.4%)	夜間の排泄 (43.8%)	夜間の排泄 (49.4%)
第2位	夜間の排泄 (31.6%)	日中の排泄 (27.6%)		日中の排泄 (38.4%)	認知症状への対応 (33.8%)
第3位	外出の付き添い、 送迎等 (23.1%)	夜間の排泄 (26.4%)	夜間の排泄 入浴・洗身 (29.4%)	認知症状への対応 (37.0%)	日中の排泄 入浴・洗身 (27.3%)
第4位	日中の排泄 (22.3%)	入浴・洗身 (19.5%)		入浴・洗身 (23.3%)	
第5位	入浴・洗身 (19.6%)	屋内の移乗・移動 (17.2%)	食事の準備(調理 等)(20.6%)	外出の付き添い、 送迎等(19.2%)	屋内の移乗・移動 (24.7%)

## (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

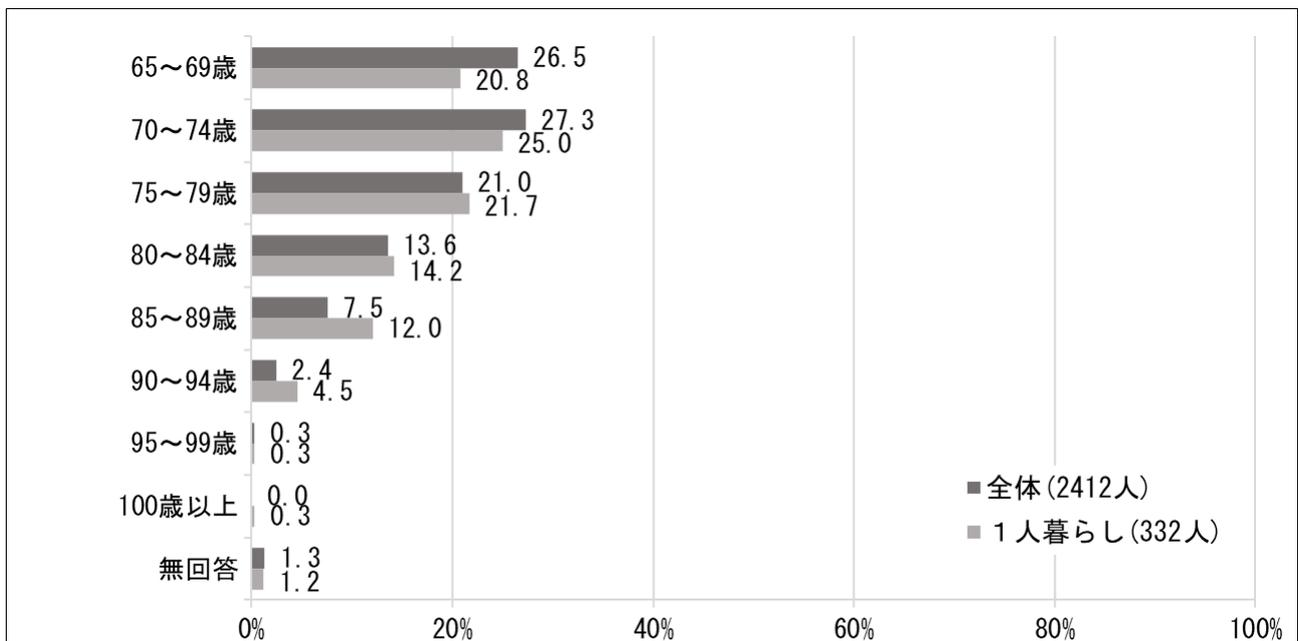
### 問1 あなたやご家族について

#### ■ 年齢【問1(2)】

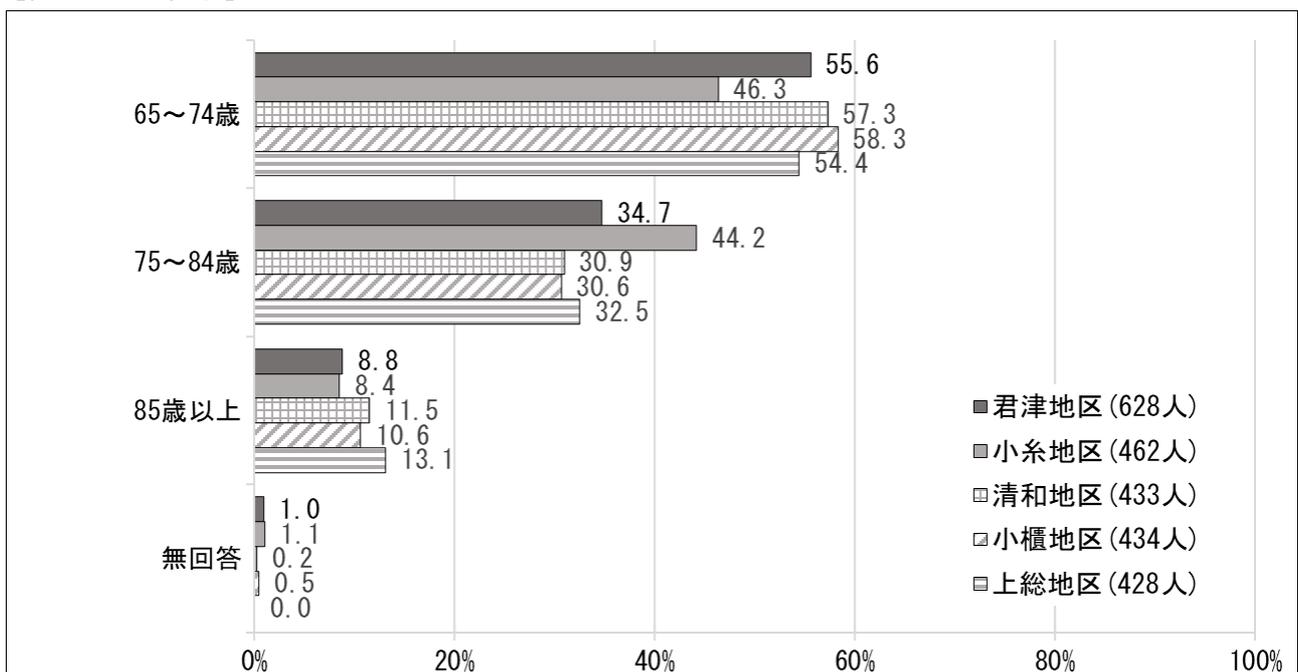
「70～74歳」が27.3%と最も高く、「65～69歳」が26.5%、「75～79歳」が21.0%と続いています。65歳から74歳までの前期高齢者が53.8%、75歳以上の後期高齢者が44.8%となっています。

1人暮らしをみると、「65～69歳」や「70～74歳」では全体と比較して割合が低いものの、「75～79歳」以降では、全体よりも割合が高くなっています。

住まいの地区別では、いずれの地区も「65～74歳」が最も高く、同回答は小櫃地区で58.3%と比較的高く、小糸地区で46.3%と比較的低くなっています。反対に、「85歳以上」は上総地区で13.1%と比較的高く、小糸地区で8.4%と比較的低くなっています。



#### 【住まいの地区別】

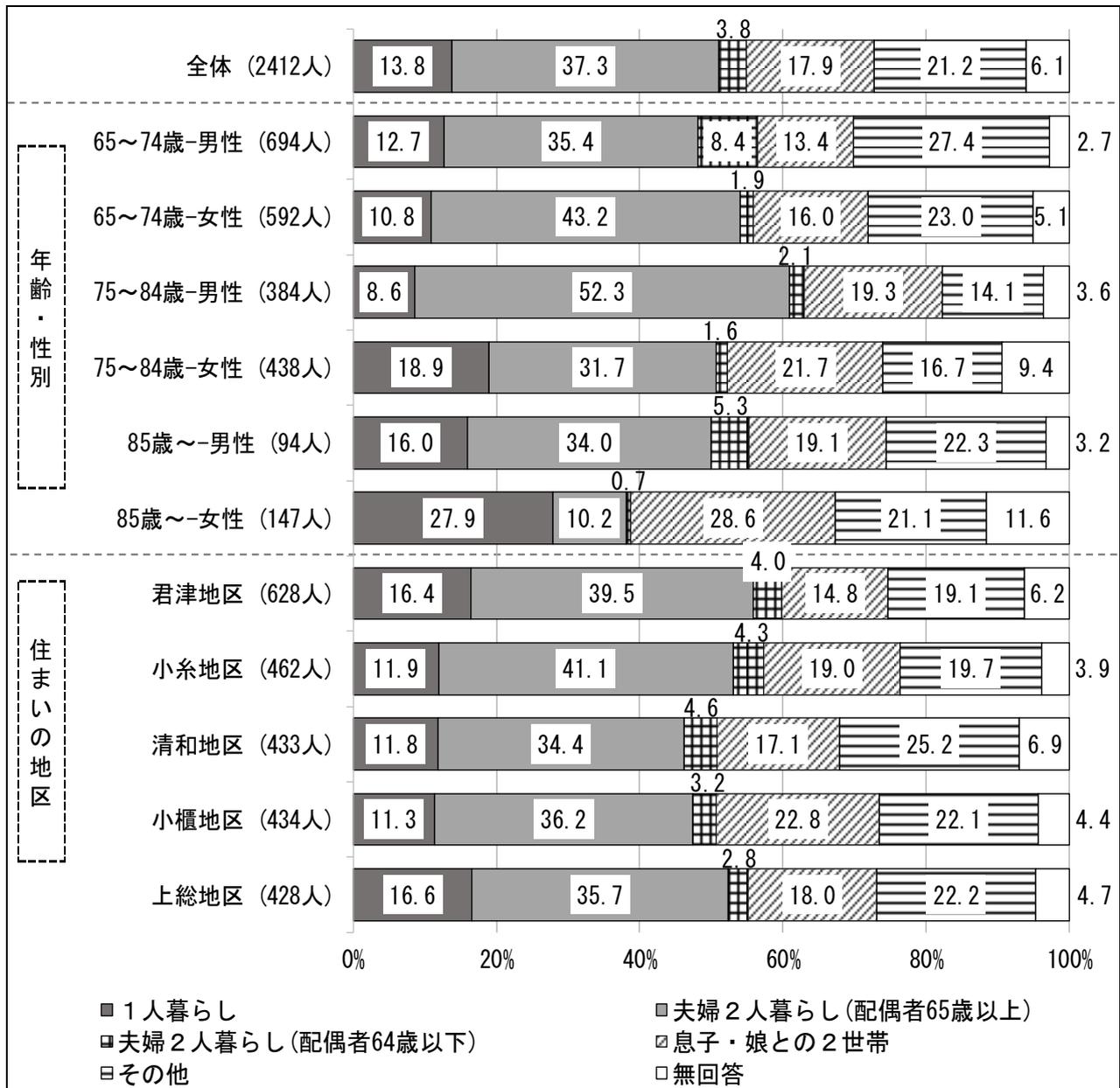


## ■ 家族構成【問1（3）】

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が37.3%と最も高く、「息子・娘との2世帯」が17.9%、「1人暮らし」が13.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が3.8%と続いています。

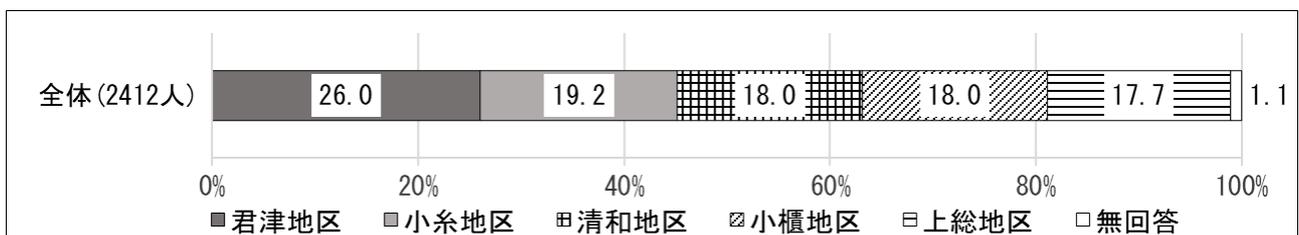
年齢・性別では、85歳～女性の27.9%が「1人暮らし」となっています。

住まいの地区別では、君津地区と上総地区で「1人暮らし」がいずれも16%超となっています。



## ■ お住まいの地区【問1（4）】

「君津地区」が26.0%、「小糸地区」が19.2%、「清和地区」と「小櫃地区」がそれぞれ18.0%、「上総地区」が17.7%となっています。



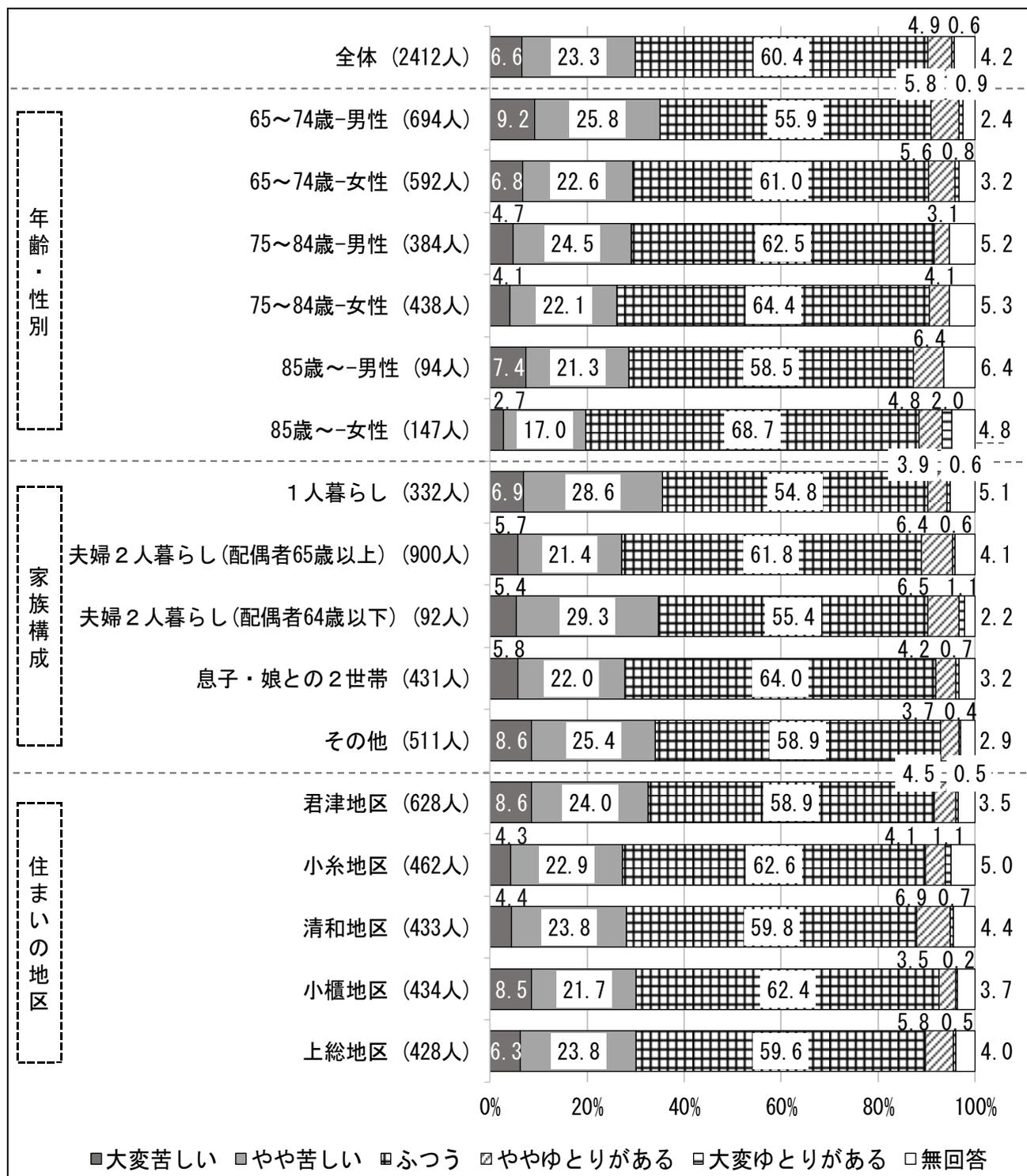
## ■ 現在の暮らしの経済的な状況【問1（6）】

「ふつう」が60.4%と最も高く、「やや苦しい」が23.3%、「苦しい」が6.6%と続いています。「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は約3割（29.9%）となっています。

年齢・性別では“苦しい”は、65～74歳-男性で35.0%と他の年齢・性別と比較して高くなっています。

1人暮らしをみると“苦しい”は、35.5%となっています。

住まいの地区別では“苦しい”は、君津地区で32.6%と、他の地区に比べ若干高くなっています。



## 問2 からだを動かすことについて

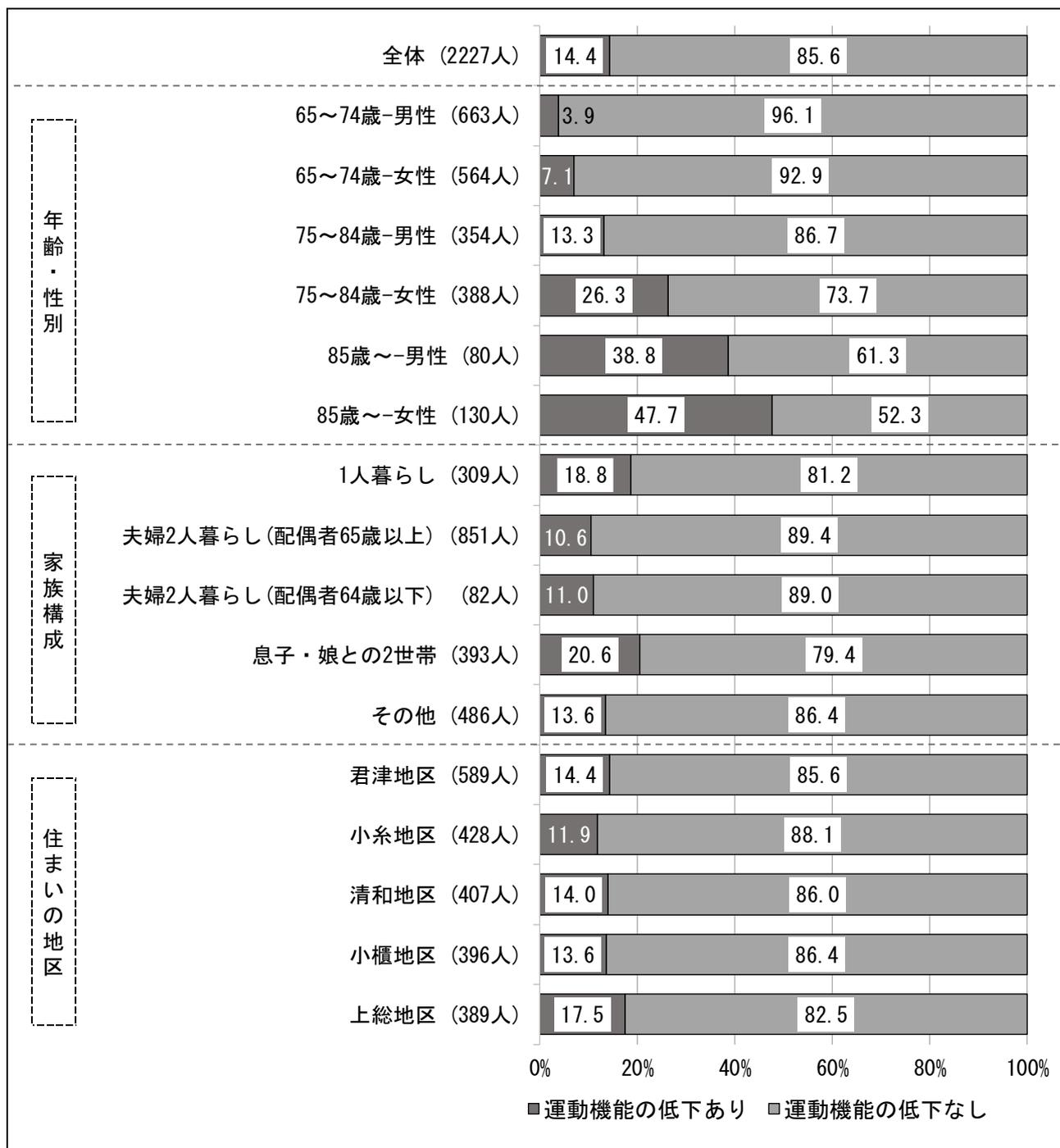
### ■ 運動機能のリスク判定

「運動機能の低下あり」（運動器の機能に関する5項目のうち3項目以上該当）が14.4%、「運動機能の低下なし」が85.6%となっています。

年齢・性別では、いずれの年齢でも男性より女性が「運動機能の低下あり」の割合が高くなっており、85歳～-女性では約5割（47.7%）となっています。

1人暮らしをみると、「運動機能の低下あり」は18.8%となっています。

住まいの地区別では、いずれの地区も「運動機能の低下あり」が10%台となっています。

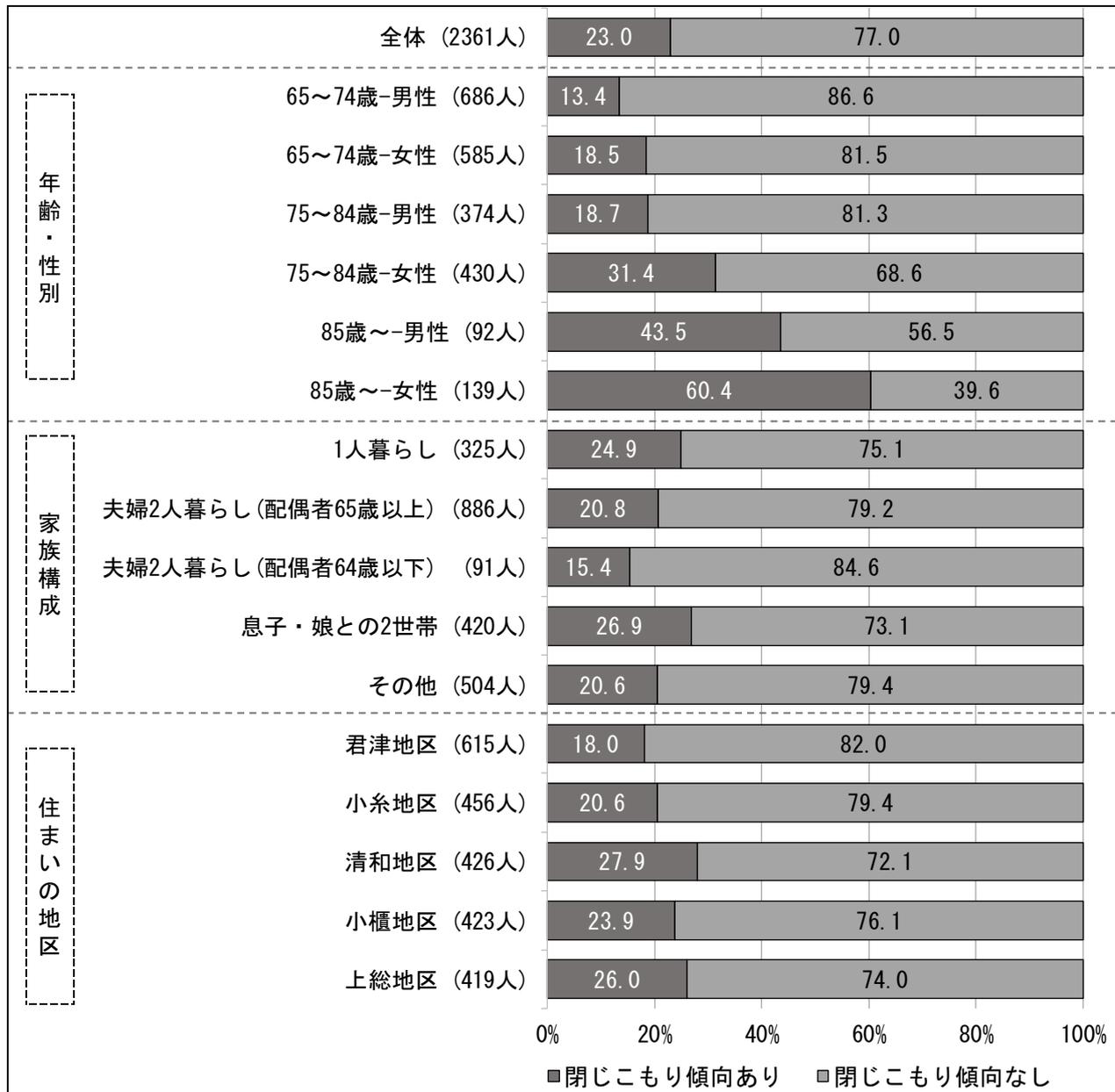


## ■ 閉じこもり傾向

「閉じこもり傾向あり」（外出が週1回以下）が23.0%、「閉じこもり傾向なし」が77.0%となっています。

1人暮らしをみると、「閉じこもり傾向あり」は24.9%となっています。

年齢・性別では、「閉じこもり傾向あり」は、いずれの年齢層でも男性よりも女性において同回答の割合が高くなっており、85歳～女性では約6割（60.4%）となっています。



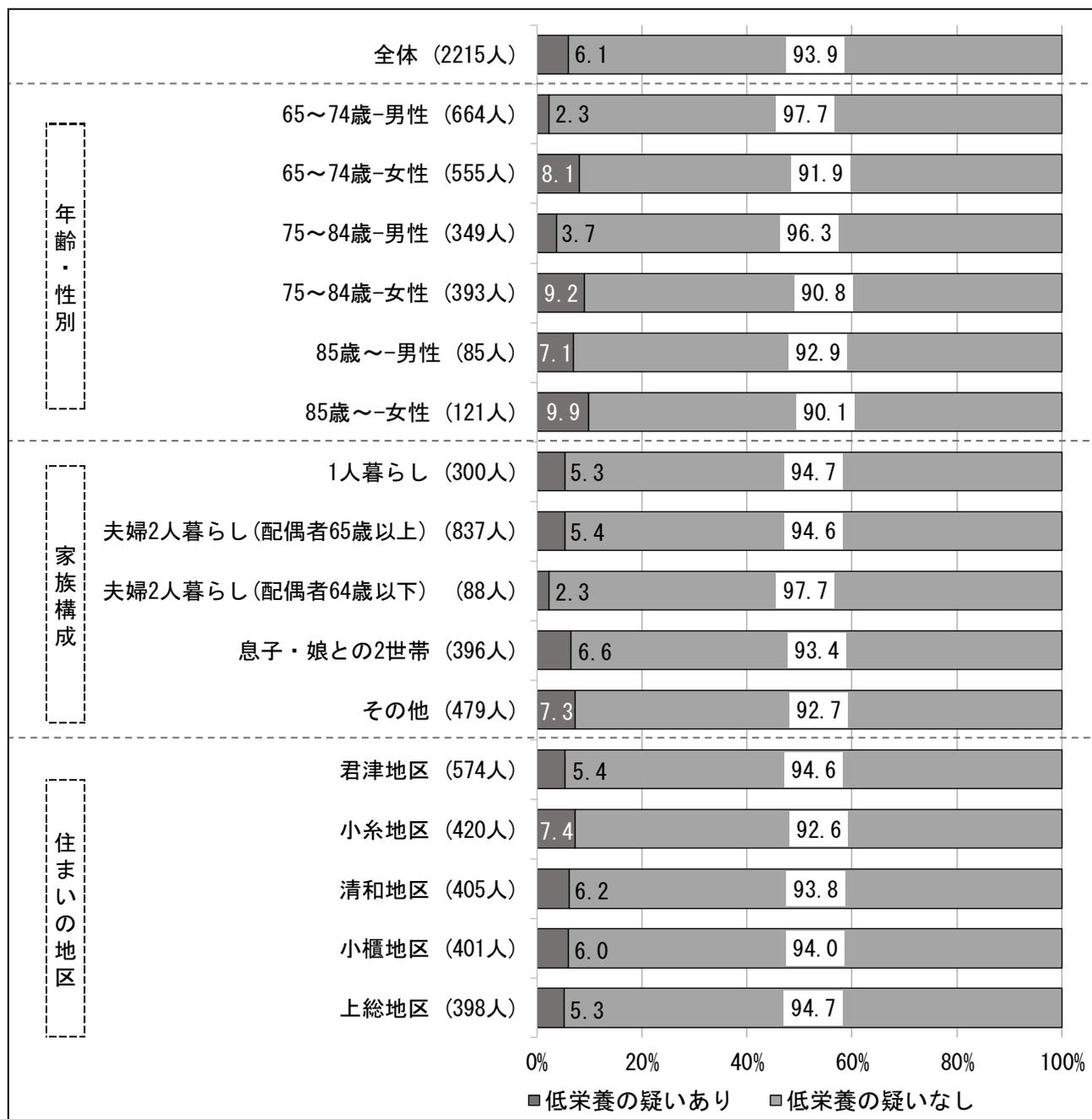
### 問3 食べることについて

#### ■ 低栄養が疑われる高齢者

「低栄養の疑いあり」(BMIで「やせ」に該当)が6.1%、「低栄養の疑いなし」が93.9%となっています。

年齢・性別では、男性より女性において「低栄養の疑いあり」の比率が高くなっており、85歳～女性では約1割(9.9%)となっています。1人暮らしでは「低栄養の疑いあり」は、5.3%となっています。

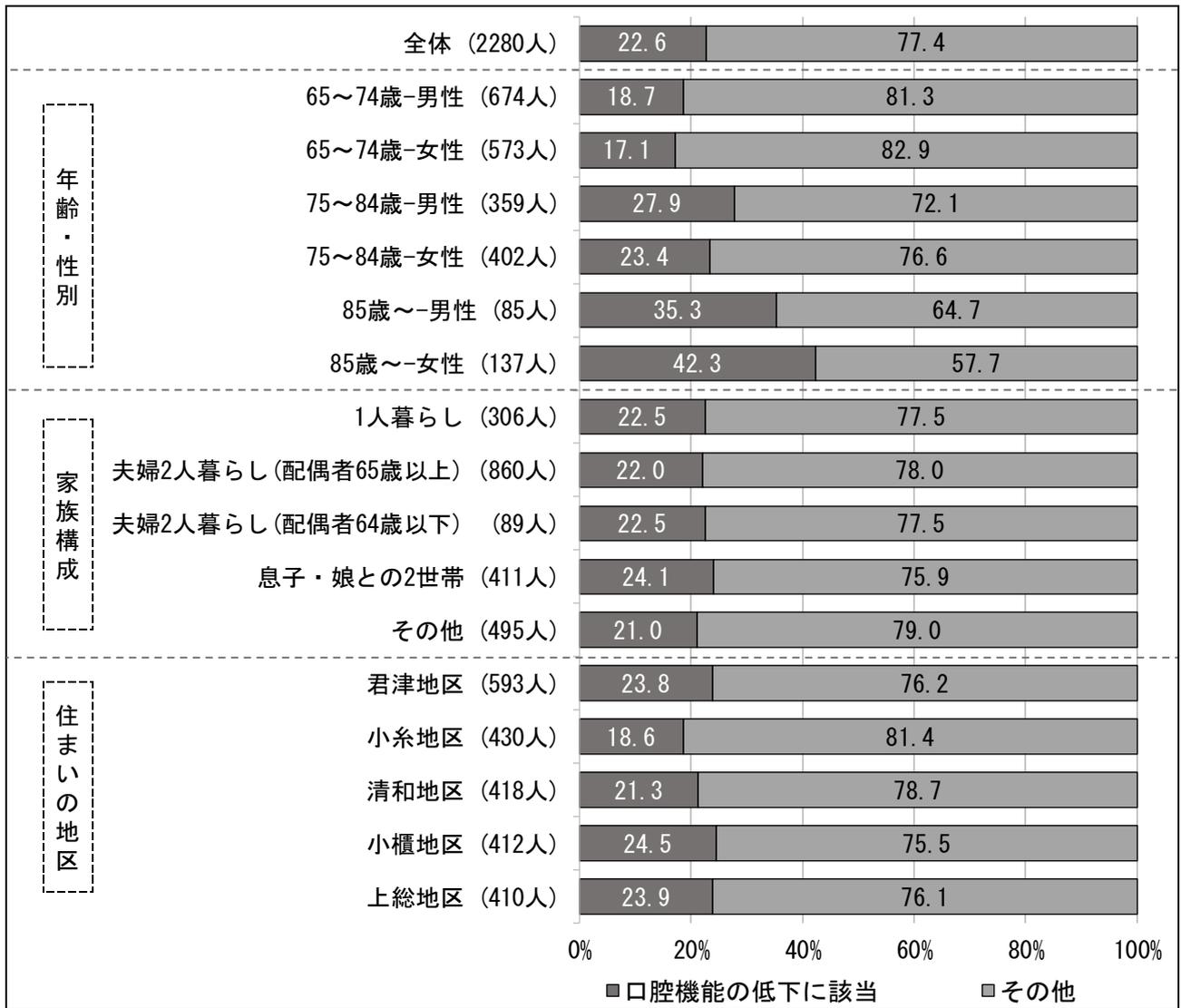
住まいの地区別では、大きな差はみられません。



#### ■ 口腔機能が低下している高齢者

「口腔機能の低下に該当」(口腔機能に関する3項目のうち2項目以上該当)が22.6%、「その他」が77.4%となっています。年齢・性別では、年齢層が上がるほど「口腔機能の低下に該当」の割合が高まる傾向があり、85歳～男性では35.3%、85歳～女性では42.3%となっています。

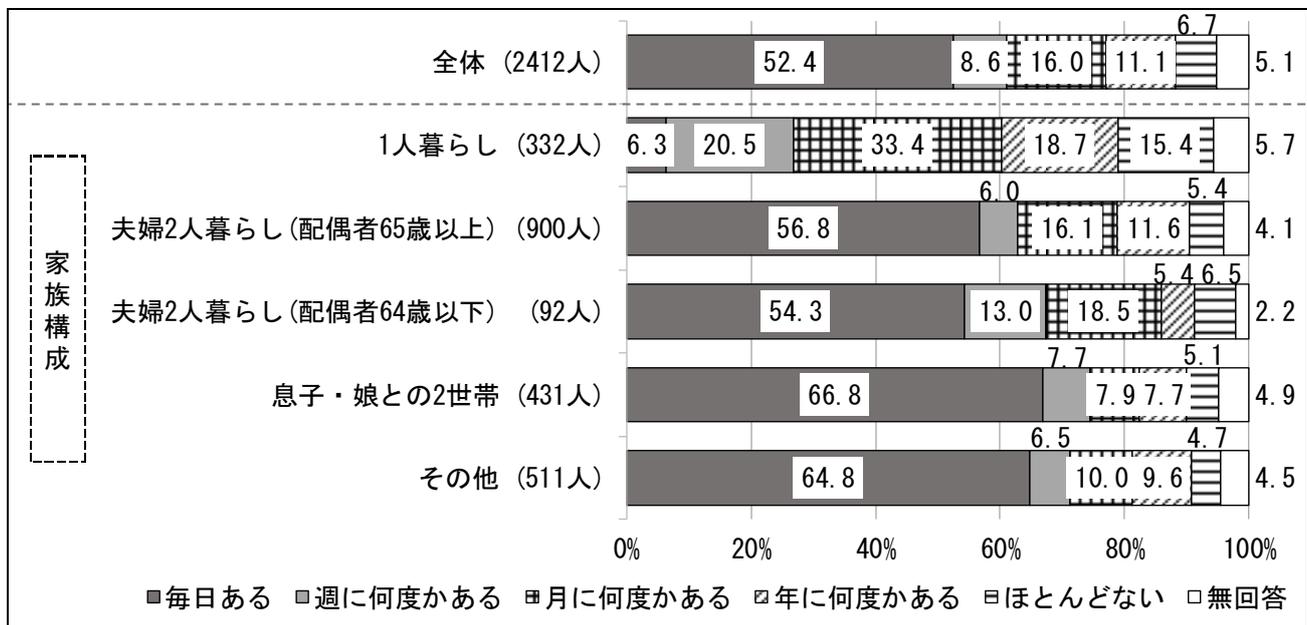
家族構成別、住まいの地区別では、大きな差はみられません。



### ■ どなたかと食事をとにもする機会【問3（8）】

「毎日ある」が52.4%と最も高く、「月に何度かある」が16.0%、「年に何度かある」が11.1%、「週に何度かある」が8.6%と続いています。また、「ほとんどない」は6.7%となっています。

1人暮らしをみると、「ほとんどない」が15.4%と、他の属性と比較して割合が高くなっています。

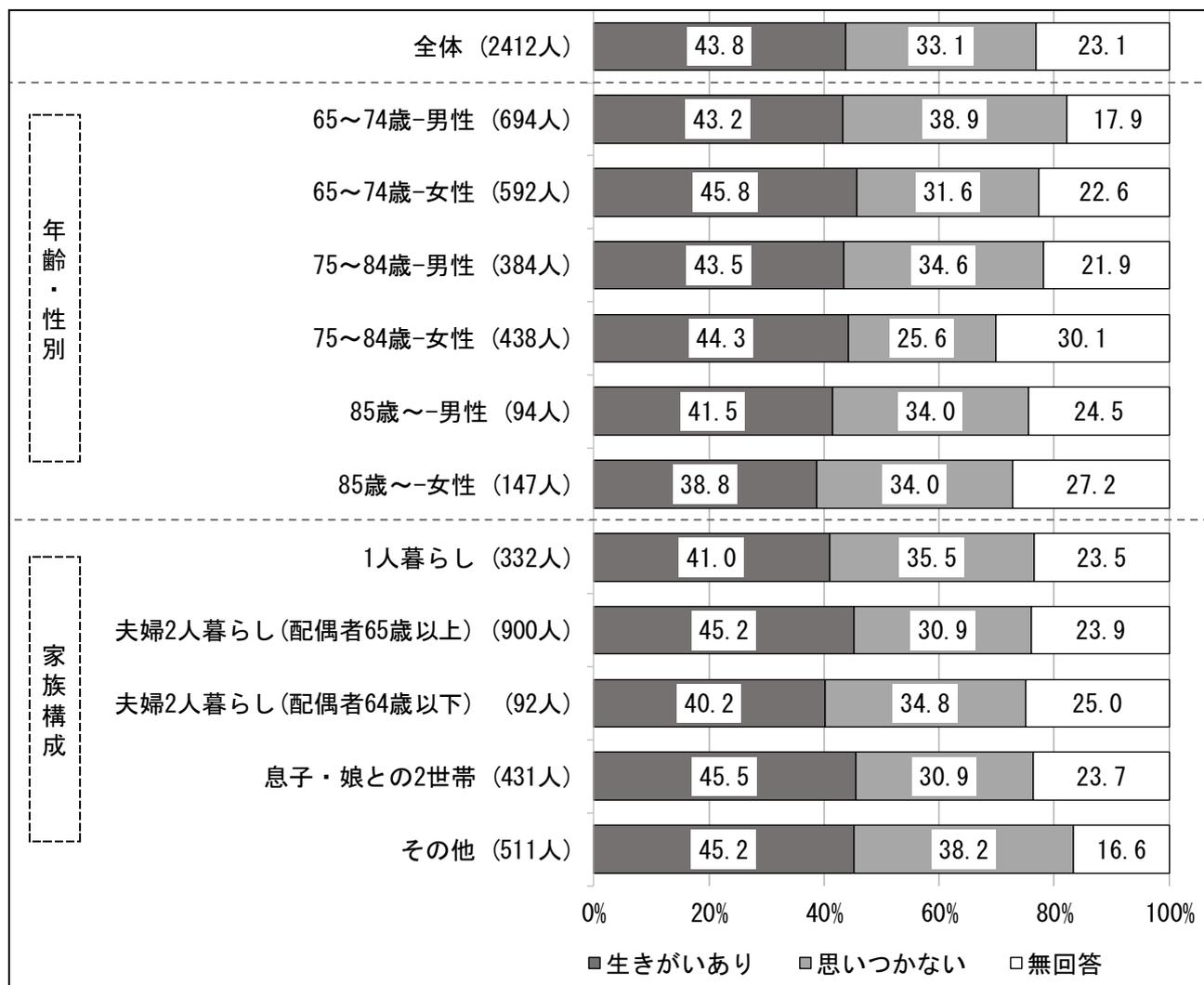


## 問4 毎日の生活について

### ■ 生きがいの有無【問4 (18)】

「生きがいあり」が43.8%、「思いつかない」が33.1%となっています。

年齢・性別では、85歳～-女性において「生きがいあり」が38.8%と、他の属性と比較して低くなっています。



### 生きがいの内容上位 10

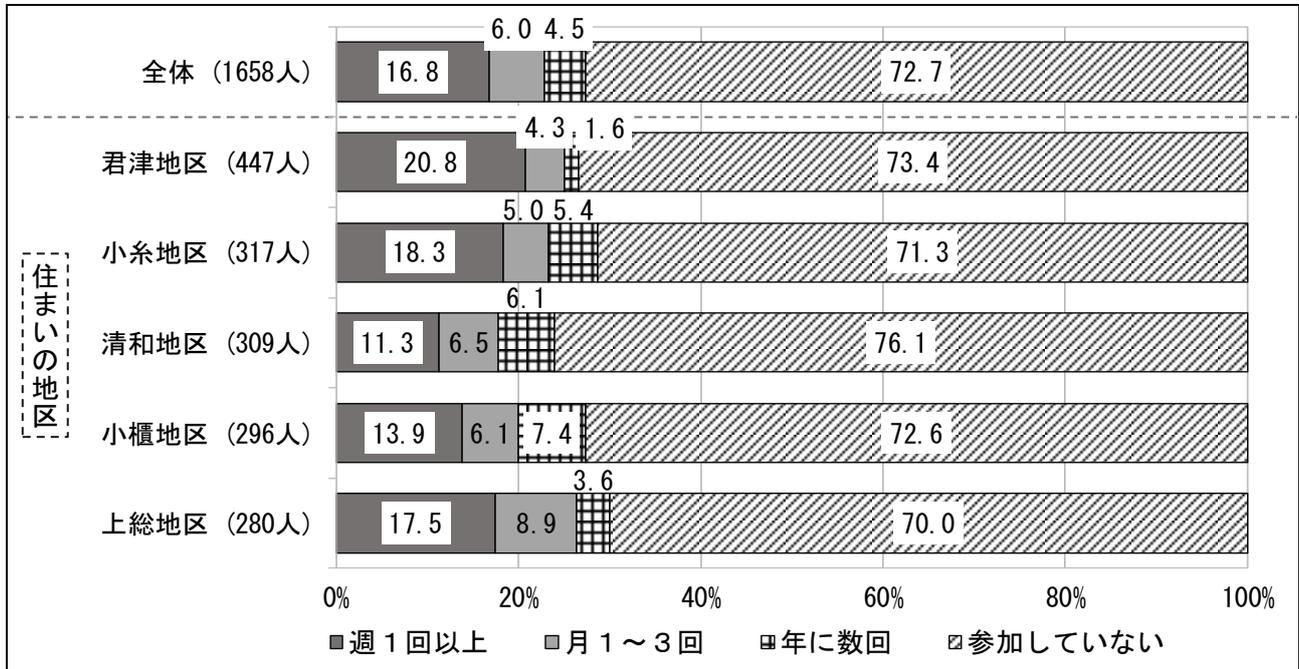
1	子・孫	322件	6	ガーデニング・園芸・花	51件
2	野菜づくり・畑仕事・家庭菜園	95件	7	友人との交遊	49件
3	健康・長生き	74件	8	日々の生活	36件
4	旅行	72件	9	趣味	35件
5	家族	52件	10	ボランティア活動	23件

## 問5 地域での活動について

### ■ スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度【問5（1）②】

「週1回以上」が16.8%、「月1～3回」が6.0%、「年に数回」が4.5%であり、これらを合わせた参加率は27.3%となっています。

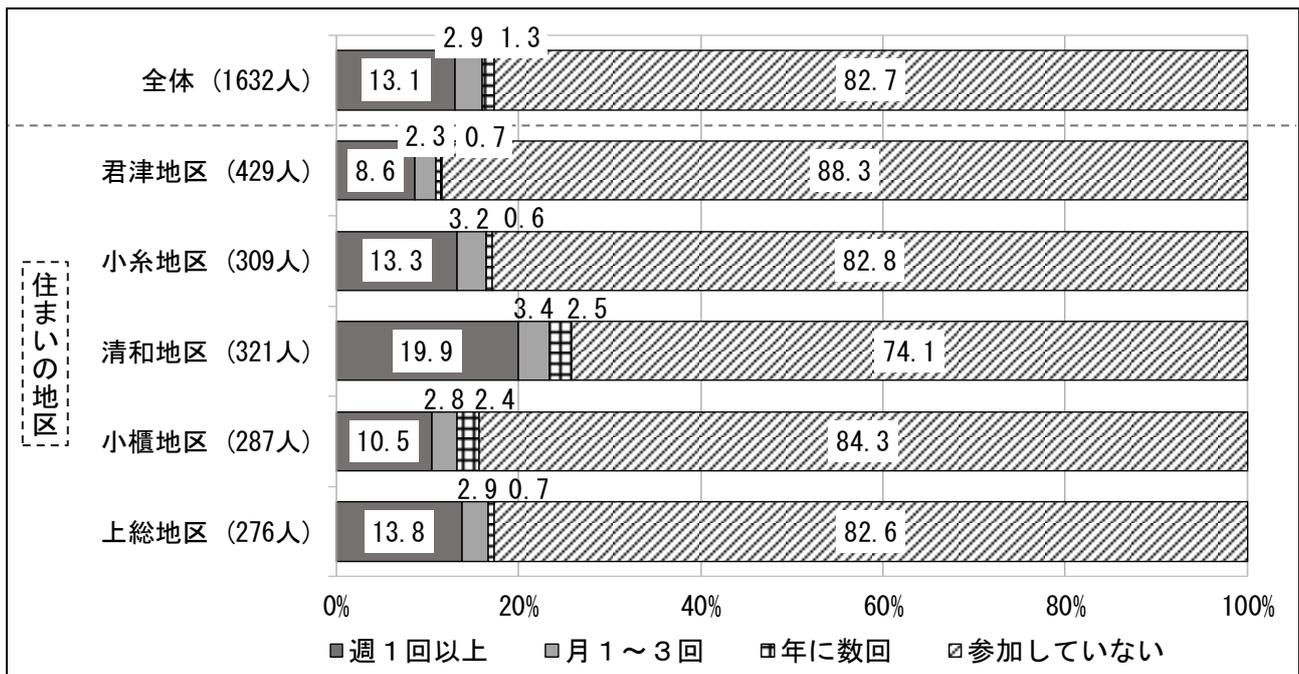
住まいの地区別では、上総地区で参加率が30.0%であり、他の地区に比べて高くなっています。



### ■ 自治会館等で実施する健康体操への参加頻度【問5（1）⑤】

「週1回以上」が13.1%、「月1～3回」が2.9%、「年に数回」が1.3%であり、これらを合わせた参加率は17.3%となっています。

住まいの地区別では、清和地区で参加率が25.8%であり、他の地区に比べ高くなっています。

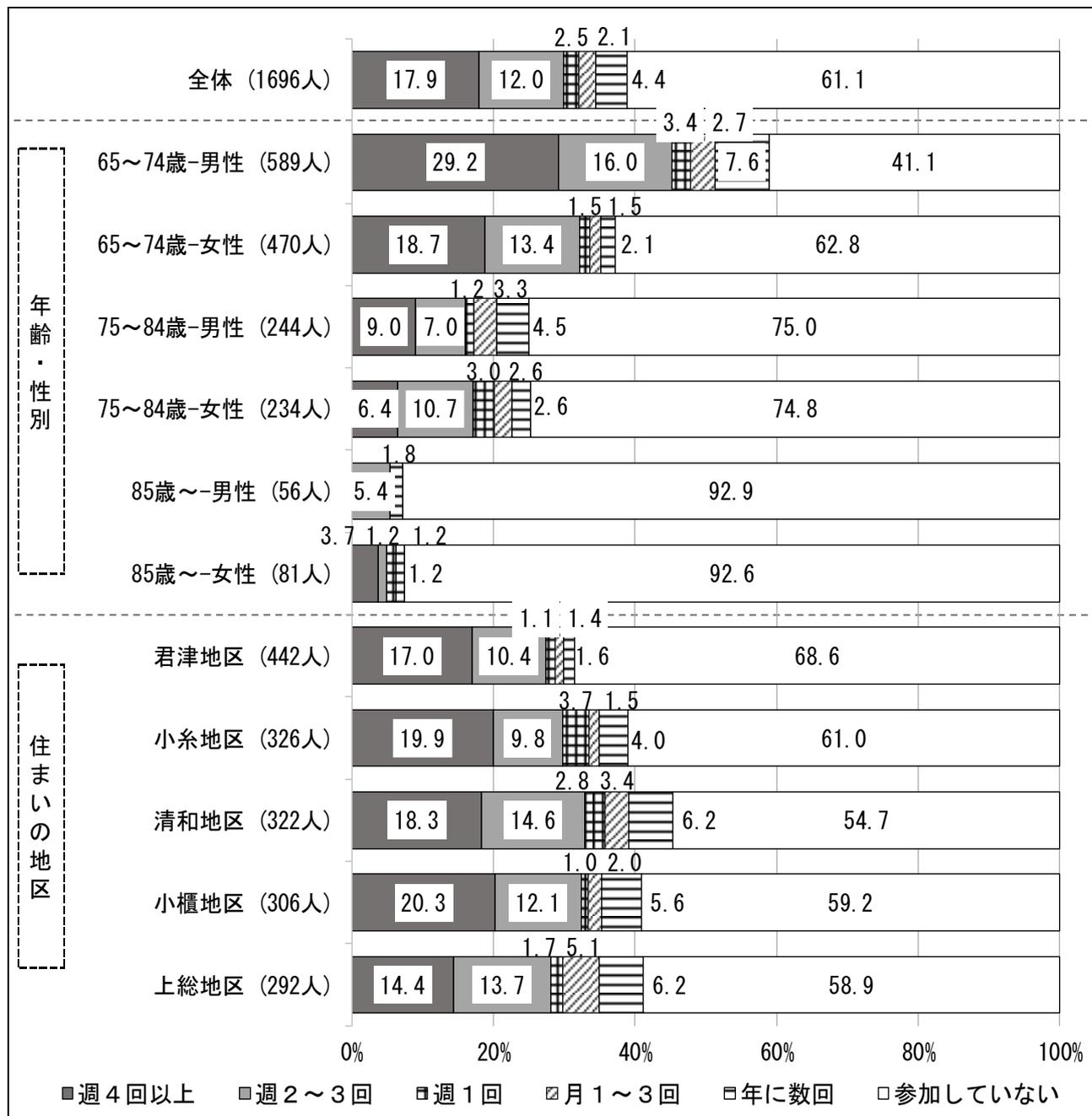


## ■ 収入のある仕事への参加頻度【問5（1）⑧】

「参加していない」が61.1%と最も高く、「週4回以上」が17.9%、「週2～3回」が12.0%、「年に数回」が4.4%と続いています。参加率は38.9%となっています。

年齢・性別では、年齢層が上がるほど参加率が低くなる傾向があります。

住まいの地区別では、清和地区で参加率が45.3%であり、他の地区に比べ高くなっています。

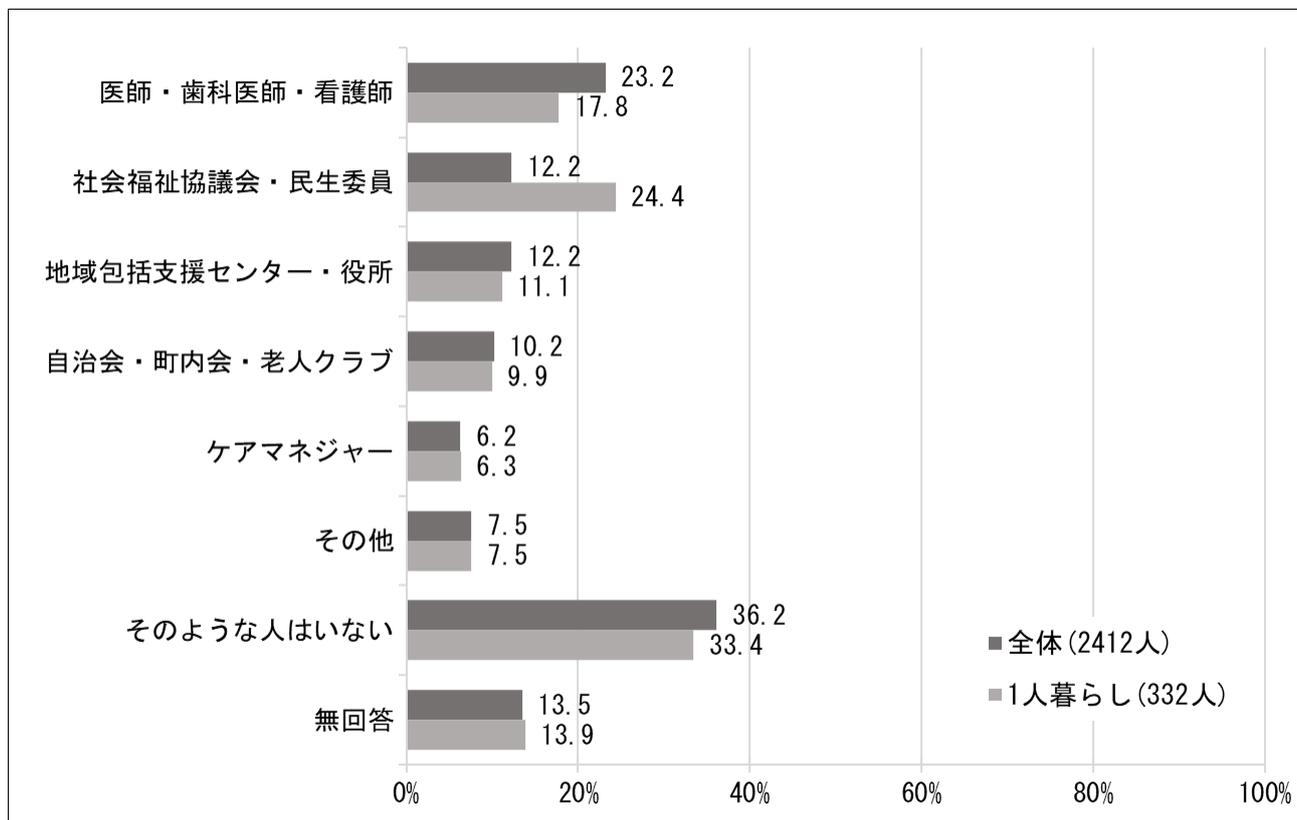


## 問6 たすけあいについて

### ■ 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（いくつでも）【問6（5）】

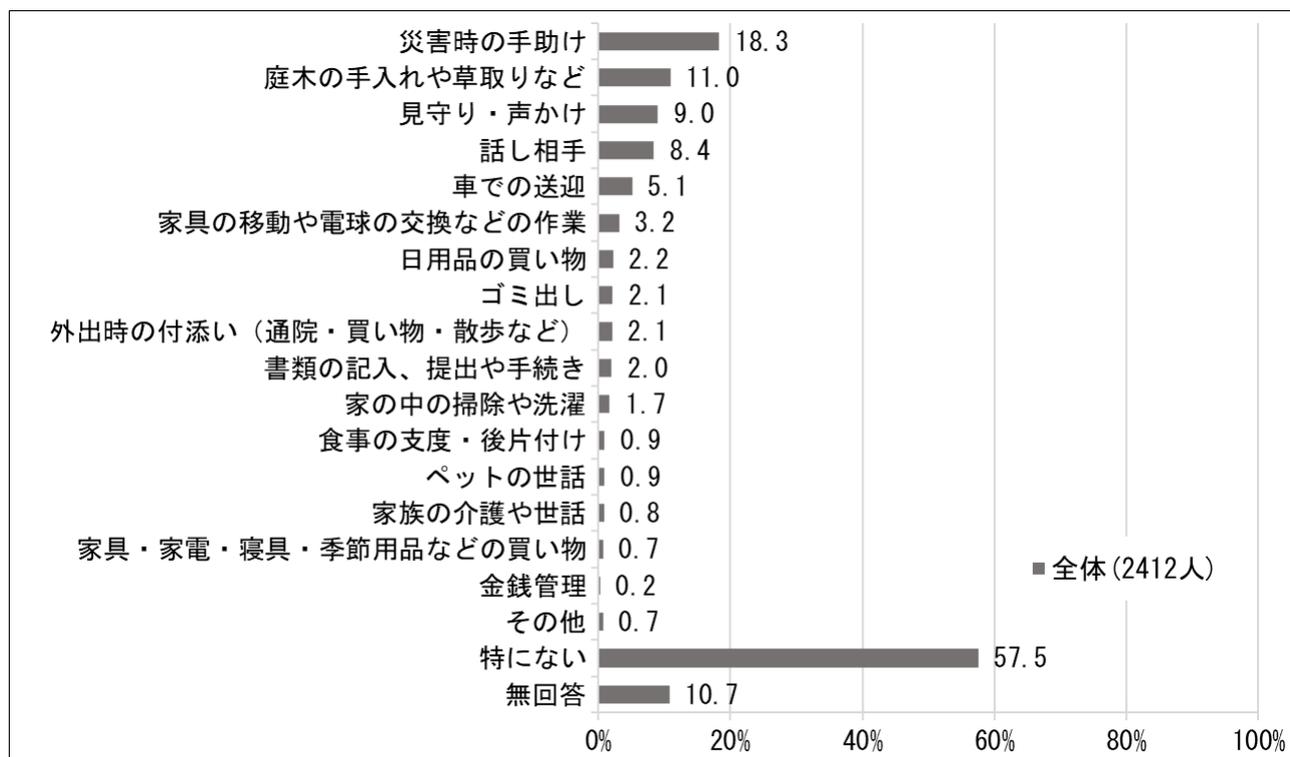
「そのような人はいない」が36.2%で最も高くなっています。具体的に相談する相手としては「医師・歯科医師・看護師」が23.2%と最も高く、「社会福祉協議会・民生委員」と「地域包括支援センター・役所」がそれぞれ12.2%と続いています。

1人暮らしの場合では、相談する相手として「社会福祉協議会・民生委員」が24.4%と、全体と比べて高い割合となっています。



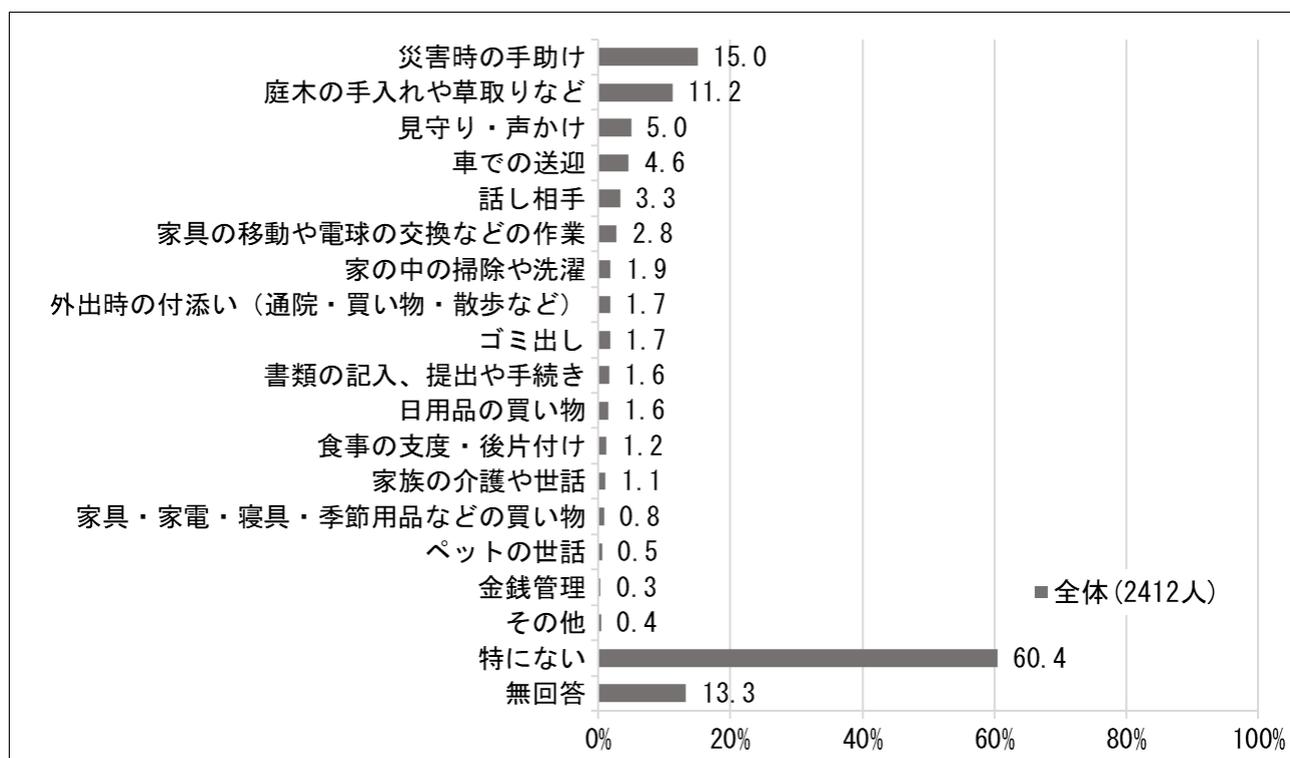
## ■ 近所や地域の人に手伝ってほしいこと（いくつでも）【問6（9）】

「特にない」が57.5%と最も高くなっています。具体的に手伝ってほしいこととしては、「災害時の手助け」が18.3%と最も高く、「庭木の手入れや草取りなど」が11.0%と続いています。



## ■ ボランティア（有償含む）に手伝ってほしいこと（いくつでも）【問6（10）】

「特にない」が60.4%と最も高くなっています。具体的に手伝ってほしいこととしては、「災害時の手助け」が15.0%と最も高く、「庭木の手入れや草取りなど」が11.2%と続いています。



## 問7 健康について

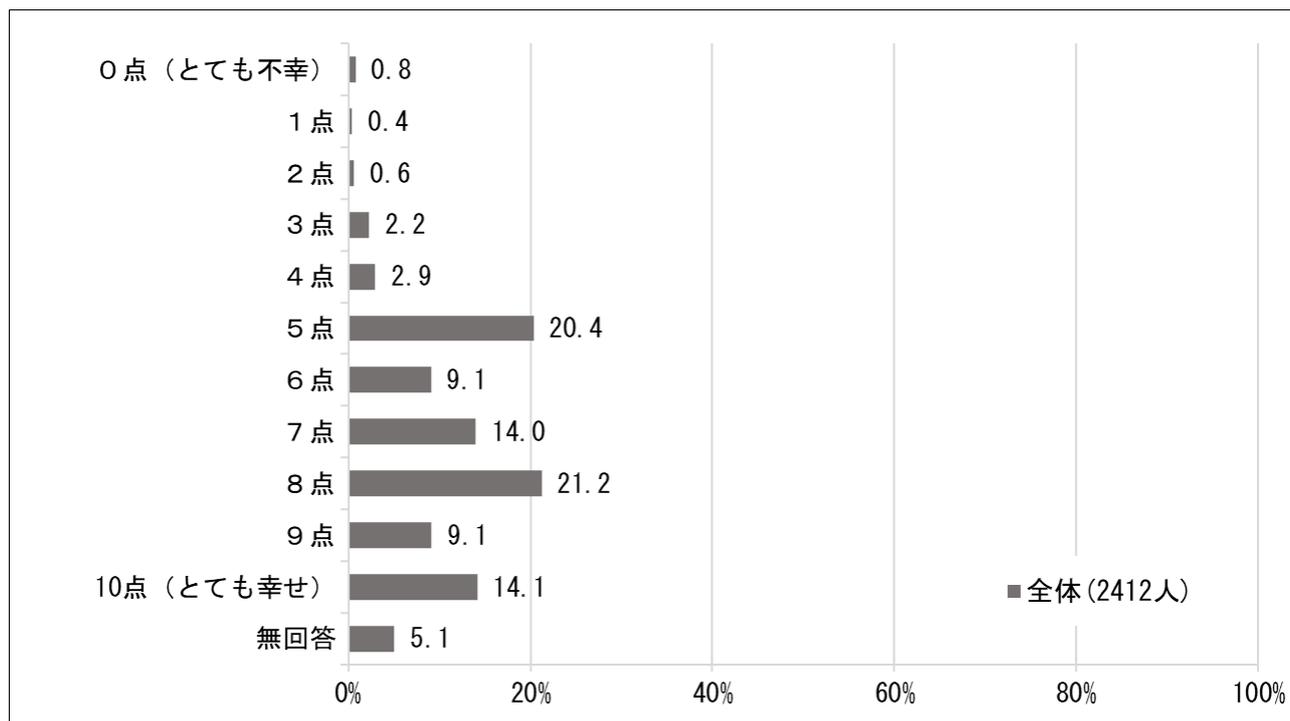
### ■ 現在どの程度幸せですか【問7（2）】

主観的幸福感を問う本設問（10点を「とても幸せ」、0点を「とても不幸」とする）では、「8点」が21.2%と最も高く、「5点」が20.4%、「10点」が14.1%、「7点」が14.0%と続いています。全体平均は7.0点です。

年齢・性別では、いずれの年齢層でも男性よりも女性の点数が高くなっています。

家族構成別では、息子・娘との2世帯が7.4点と最も高く、1人暮らしは6.5点と最も低くなっています。

住まいの地区別では、大きな差はみられません。



### 【平均点】

全体(2412人)	7.0点
-----------	------

年齢・性別		家族構成別		住まいの地区別	
65～74歳-男性(694人)	6.7点	1人暮らし(332人)	6.5点	君津地区(628人)	7.1点
65～74歳-女性(592人)	7.3点	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)(900人)	7.2点	小糸地区(462人)	7.1点
75～84歳-男性(384人)	6.9点	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)(92人)	7.2点	清和地区(433人)	7.1点
75～84歳-女性(438人)	7.3点	息子・娘との2世帯(431人)	7.4点	小櫃地区(434人)	7.0点
85歳～-男性(94人)	7.0点	その他(511人)	7.0点	上総地区(428人)	6.9点
85歳～-女性(147人)	7.3点				

## 問8 保健・福祉サービスについて

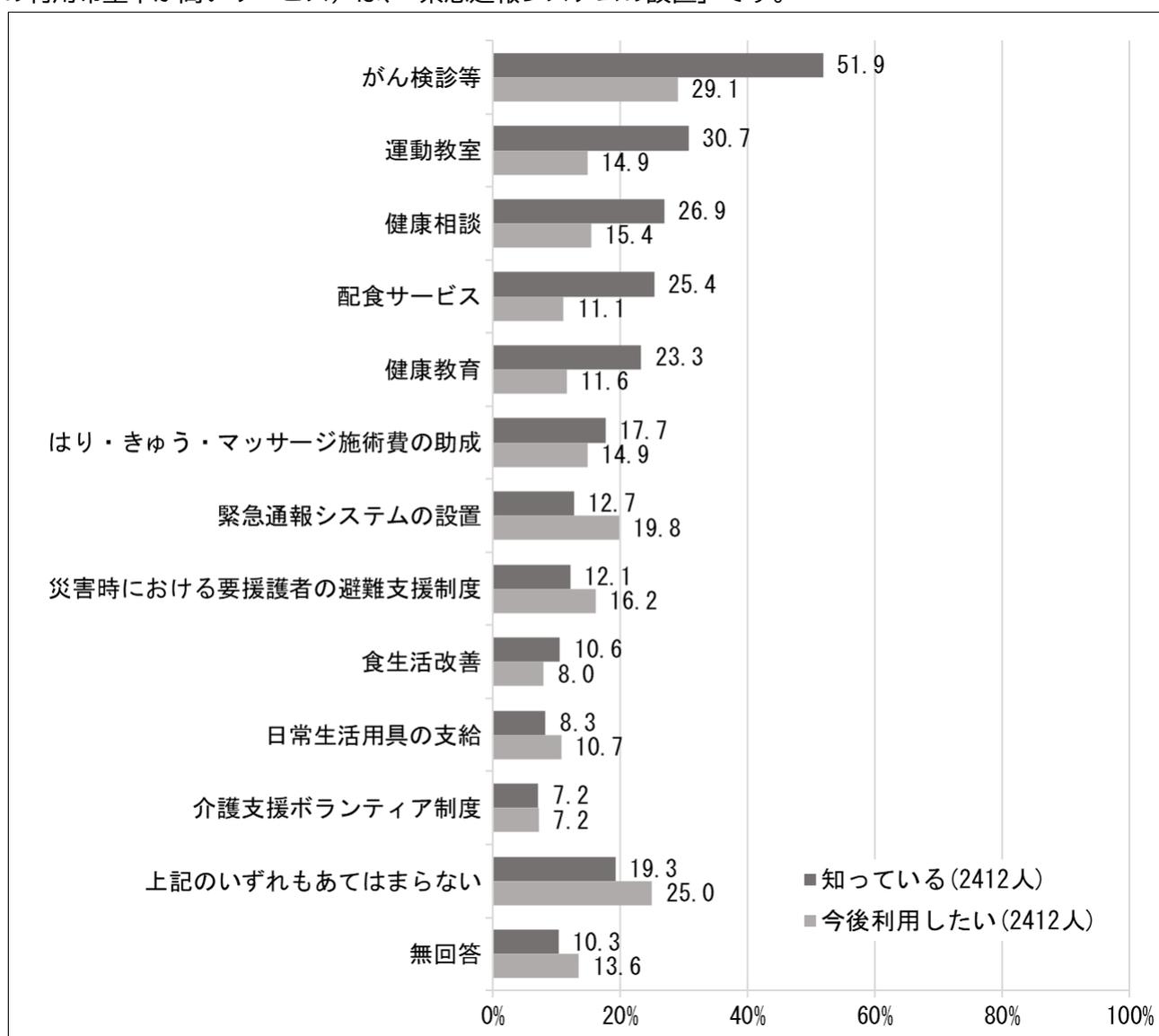
- 次の保健・福祉サービスで、知っているサービス（いくつでも）【問8（2）】
- 次の保健・福祉サービスで、今後利用したいサービス（いくつでも）【問8（3）】

「がん検診等」は<知っている>が51.9%、<今後利用したい>が29.1%と、他のサービスと比べて認知度・今後の利用希望率ともに高くなっています。

サービスの認知度は、次いで「運動教室」が30.7%、「健康相談」が26.9%となっています。一方、「日常生活用具の支給」(8.3%)や「介護支援ボランティア制度」(7.2%)は認知度が比較的低くなっています。また、「上記のいずれもあてはまらない（知らない）」も19.3%みられます。

サービスの今後の利用希望率は、「がん検診等(29.1%)」に次いで「緊急通報システムの設置」が19.8%、「災害時における要援護者の避難支援制度」が16.2%、「健康相談」が15.4%と高くなっています。

<今後利用したい>が<知っている>を5ポイント以上上回っているサービス（認知度が低いが今後の利用希望率が高いサービス）は、「緊急通報システムの設置」です。



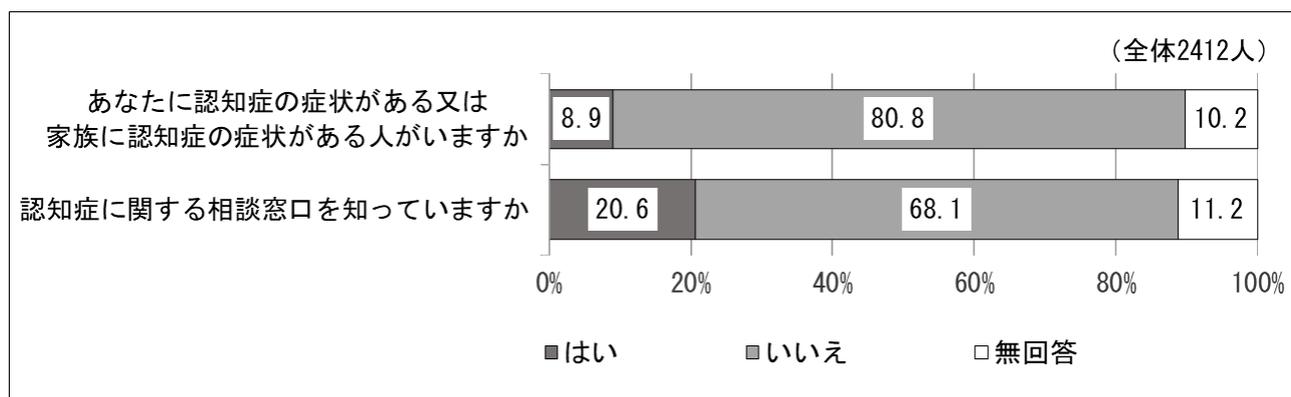
## 問9 生活上の不安や不便等について

- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無【問9（4）】
- 認知症に関する窓口の認知状況【問9（5）】

認知症の症状がある人や相談窓口とのかかわりを問う2つの設問のうち、<あなたに認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか>という設問では、「はい」が8.9%、「いいえ」が80.8%となっています。

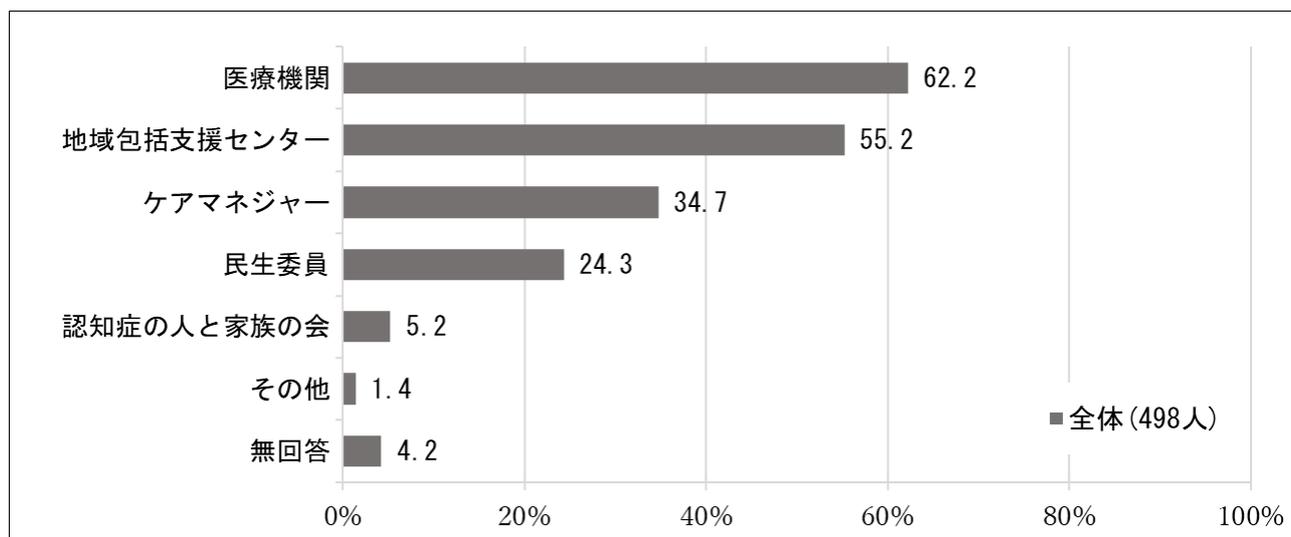
<認知症に関する相談窓口を知っていますか>という設問では、「はい」が20.6%、「いいえ」が68.1%となっています。

本人や家族に認知症の症状がなくても、認知症に関する相談窓口を知っている人が多いことがわかります。



### ■ 認知症の相談窓口と考えるところ (〇は3つまで)【問9（5）①】

「医療機関」が62.2%と最も高く、「地域包括支援センター」が55.2%、「ケアマネジャー」が34.7%と続いています。



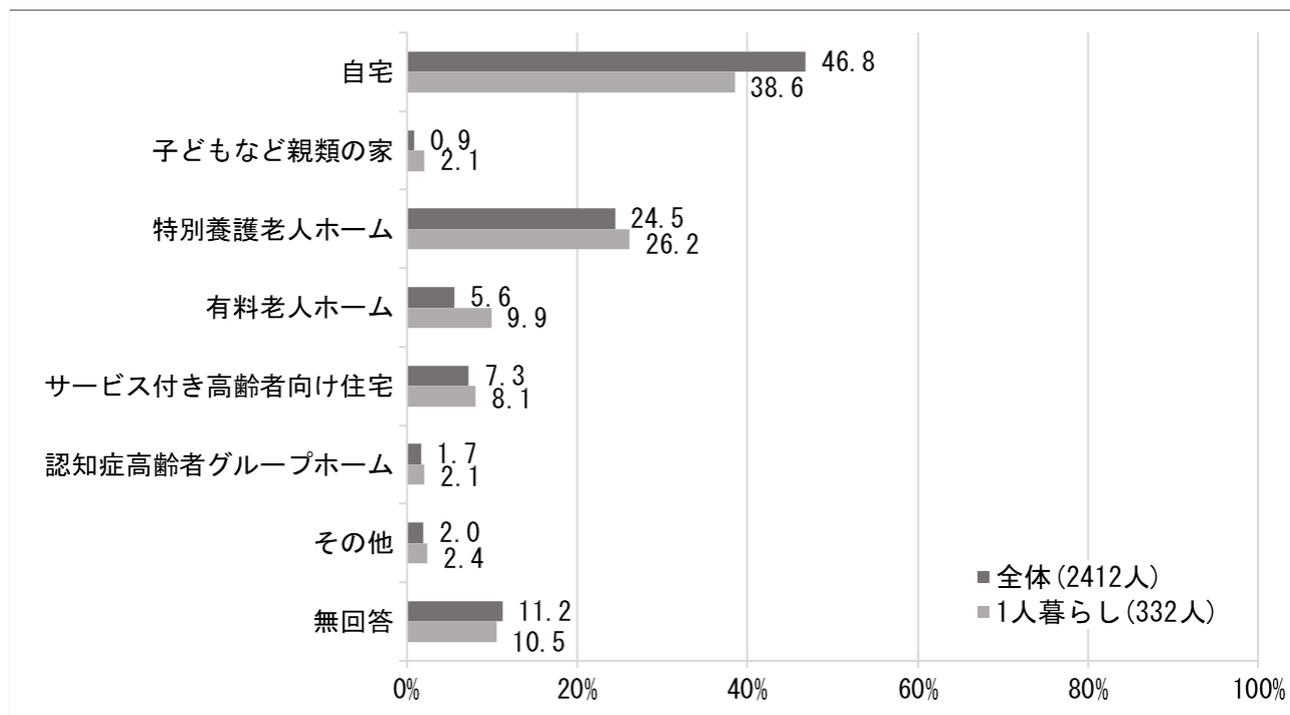
※問9（5）で「はい（認知症の相談窓口を知っている）」と回答した方が対象

## 問 10 介護保険制度や今後の高齢者施策について

### ■ 常に介護が必要になった場合、介護を受けて生活したいところ(○は1つ)【問 10(1)】

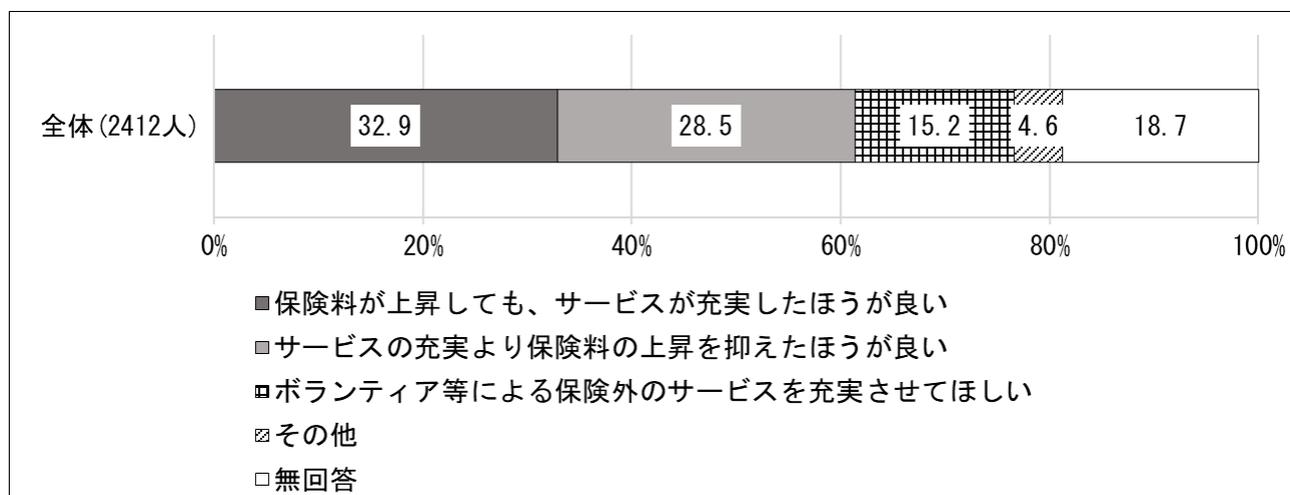
「自宅」が46.8%と最も高く、「特別養護老人ホーム」が24.5%、「サービス付き高齢者向け住宅」が7.3%、「有料老人ホーム」が5.6%と続いています。

1人暮らしをみると、「自宅」が38.6%と全体に比べて低く、「特別養護老人ホーム」「有料老人ホーム」「サービス付き高齢者向け住宅」「認知症高齢者グループホーム」がそれぞれ全体と比べて若干高くなっています。



### ■ 介護保険料とサービス提供のあり方【問 10(2)】

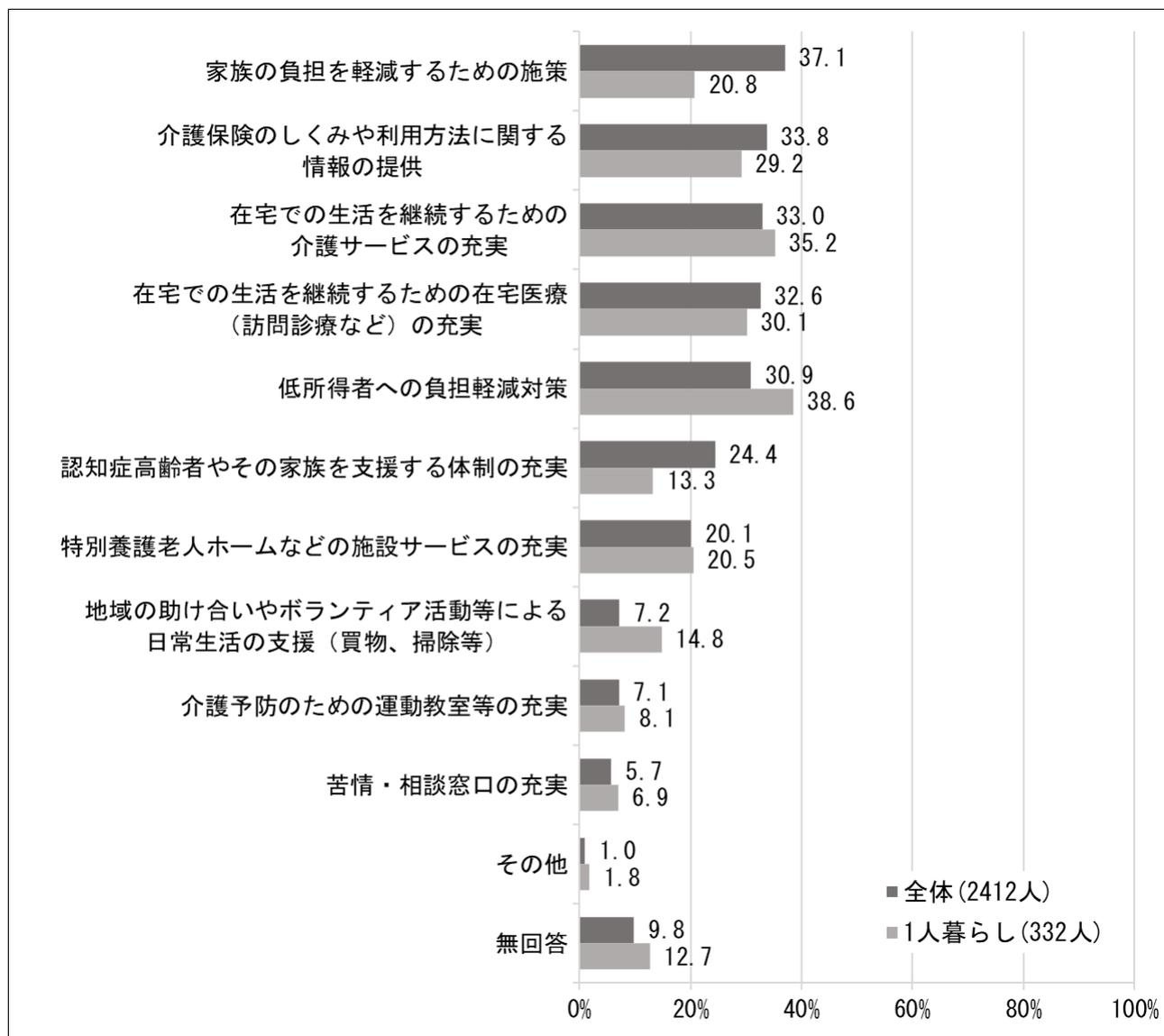
「保険料が上昇しても、サービスが充実したほうが良い」が32.9%と最も高く、「サービスの充実より保険料の上昇を抑えたほうが良い」が28.5%、「ボランティア等による保険外のサービスを充実させてほしい」が15.2%と続いています。



## ■ 今後、力を入れてほしい施策（〇は3つまで）【問10（5）】

「家族の負担を軽減するための施策」が37.1%と最も高く、「介護保険のしくみや利用方法に関する情報の提供」が33.8%、「在宅での生活を継続するための介護サービスの充実」が33.0%、「在宅での生活を継続するための在宅医療（訪問診療など）の充実」が32.6%と続いています。

1人暮らしの場合をみると、「低所得者への負担軽減対策」が38.6%と最も高く、「在宅での生活を継続するための介護サービスの充実」が35.2%、「在宅での生活を継続するための在宅医療（訪問診療など）の充実」が30.1%、「介護保険のしくみや利用方法に関する情報の提供」が29.2%と続いています。

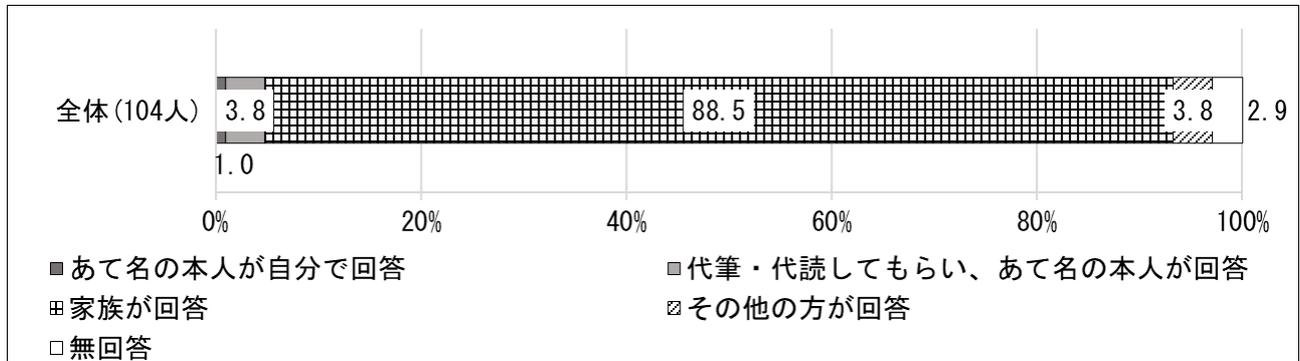


### (3) 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査

#### 問1 この調査の回答者について

##### ■ この調査に回答される方 (〇はひとつ) 【問1】

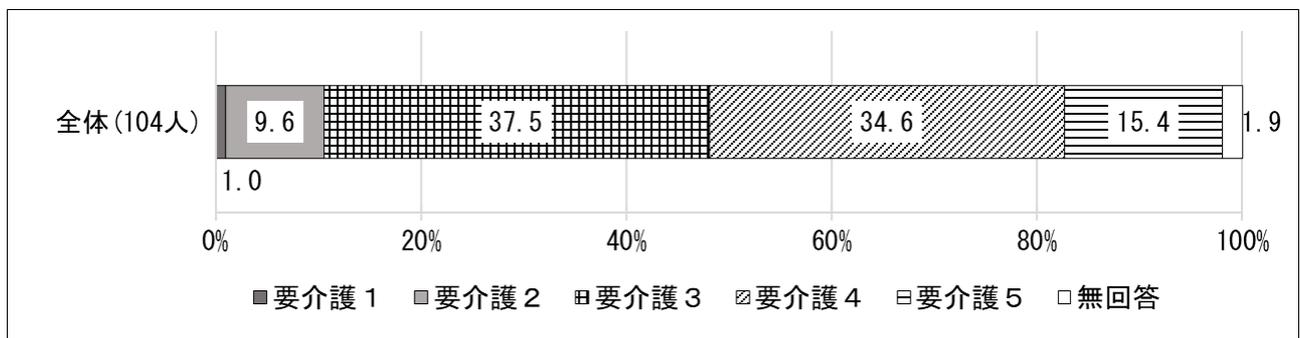
「家族が回答」が88.5%と最も高く、「代筆・代読してもらい、あて名の本人が回答」が3.8%、「あて名の本人が自分で回答」が1.0%と続いています。



#### 問2 あて名のご本人について

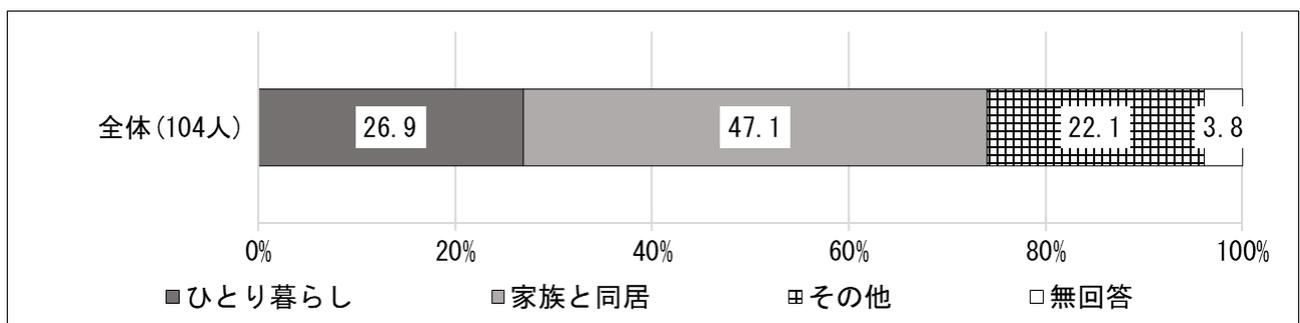
##### ■ 要介護度 (〇はひとつ) 【問2-3】

「要介護3」が37.5%と最も高く、「要介護4」が34.6%、「要介護5」が15.4%、「要介護2」が9.6%と続いています。



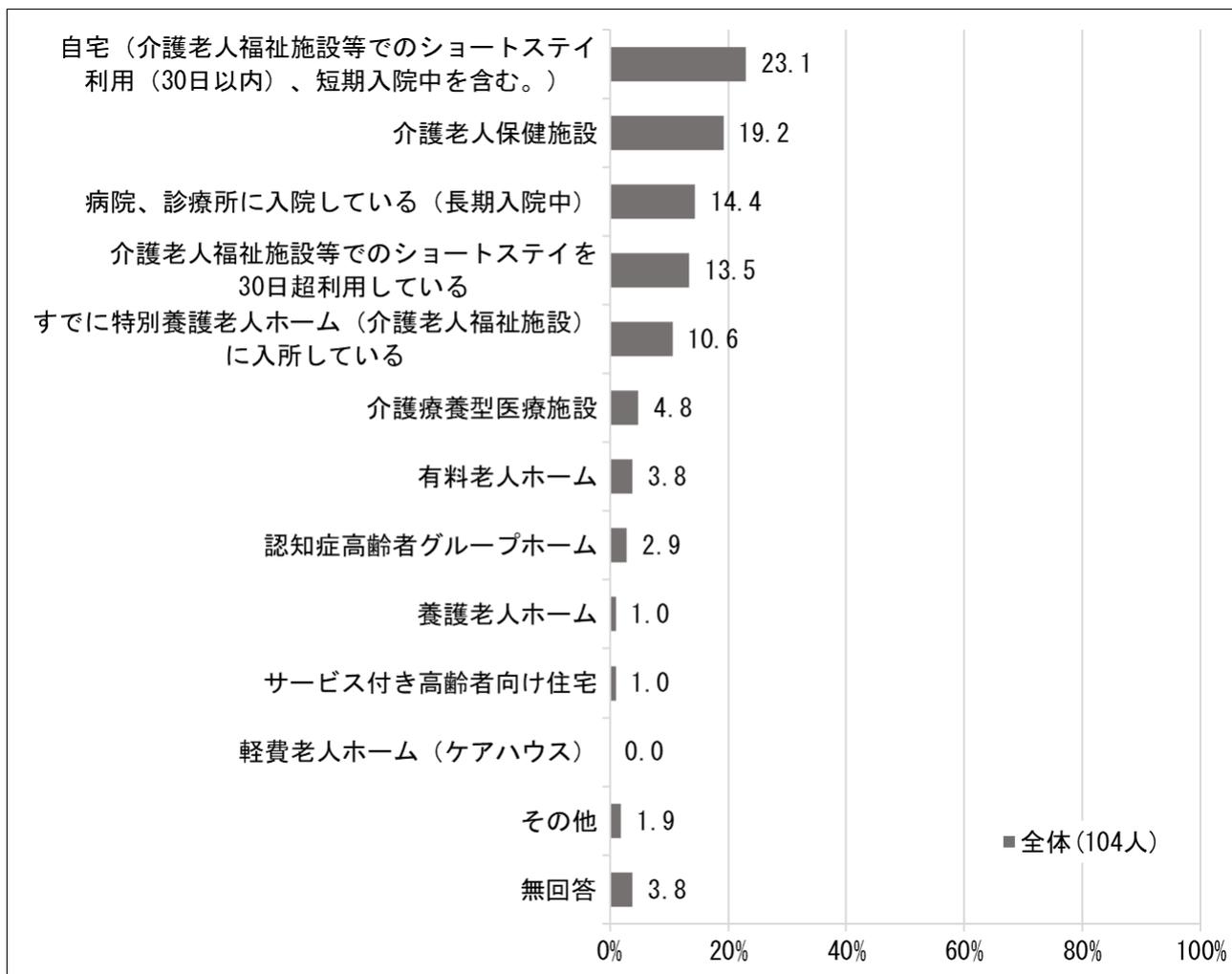
##### ■ 現在の世帯構成 (〇はひとつ) 【問2-5】

「家族と同居」が47.1%と最も高く、「ひとり暮らし」が26.9%、「その他」が22.1%と続いています。



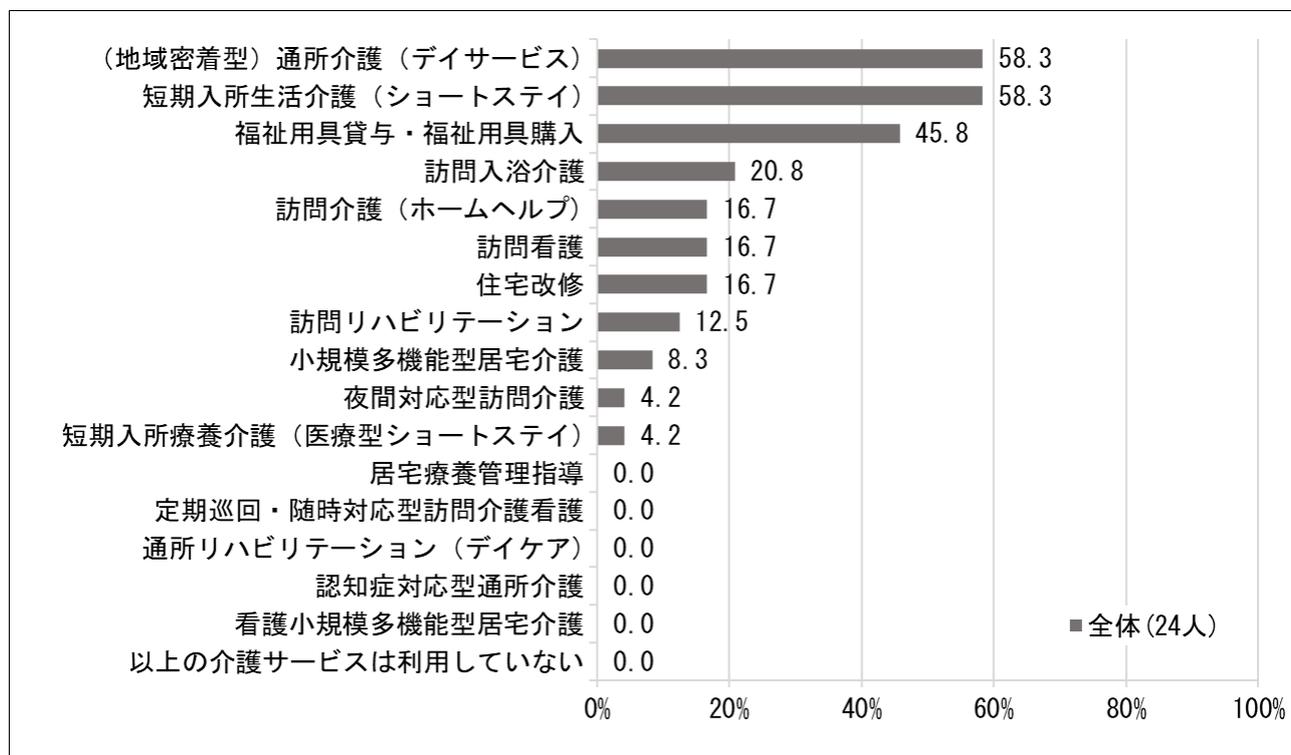
## ■ 現在のお住まい（〇はひとつ）【問2-6】

「自宅（介護老人福祉施設等でのショートステイ利用（30日以内）、短期入院中を含む。）」が23.1%と最も高く、「介護老人保健施設」が19.2%、「病院、診療所に入院している（長期入院中）」が14.4%、「介護老人福祉施設等でのショートステイを30日超利用している」が13.5%と続いています。



## ■ 自宅で利用している介護サービス（〇はいくつでも）【問2-6-1】

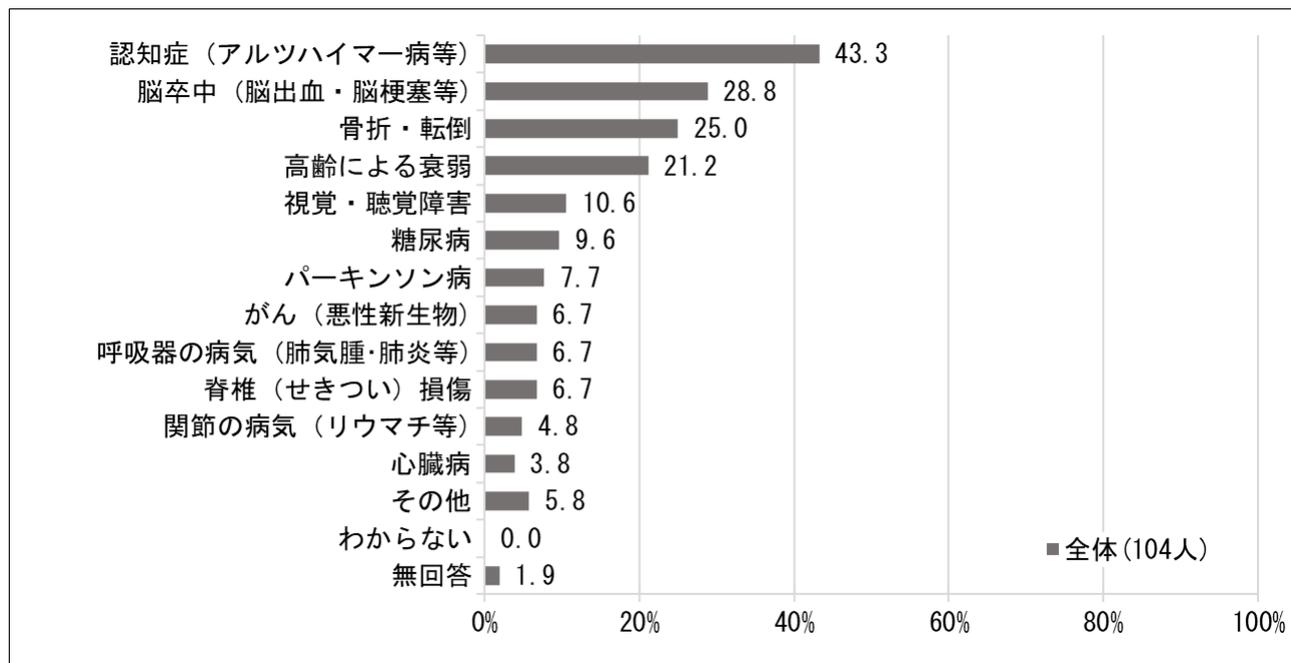
「（地域密着型）通所介護（デイサービス）」と「短期入所生活介護（ショートステイ）」がそれぞれ58.3%と最も高く、「福祉用具貸与・福祉用具購入」が45.8%、「訪問入浴介護」が20.8%と続いています。



※問2-6で「自宅」と回答した方が対象

## ■ 介護・介助が必要になった主な原因（〇はいくつでも）【問2-7】

「認知症（アルツハイマー病等）」が43.3%と最も高く、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が28.8%、「骨折・転倒」が25.0%、「高齢による衰弱」が21.2%と続いています。



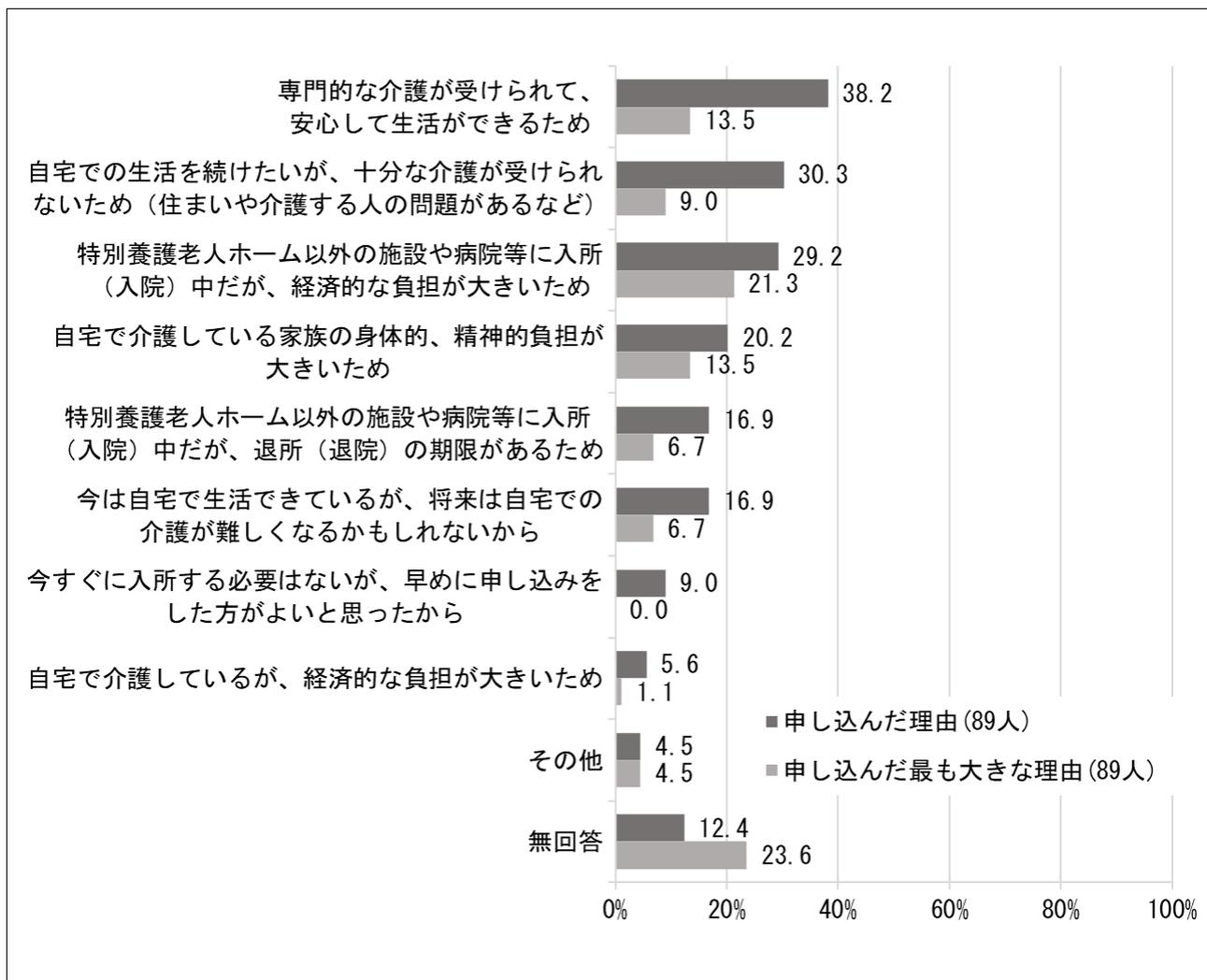
### 問3

## 特別養護老人ホームへの入所希望について（現在、特別養護老人ホームへ入所していない方への設問）

### ■ 入所申込の理由（あてはまるものすべてに○をして、最も大きな理由1つに◎）【問3-1】

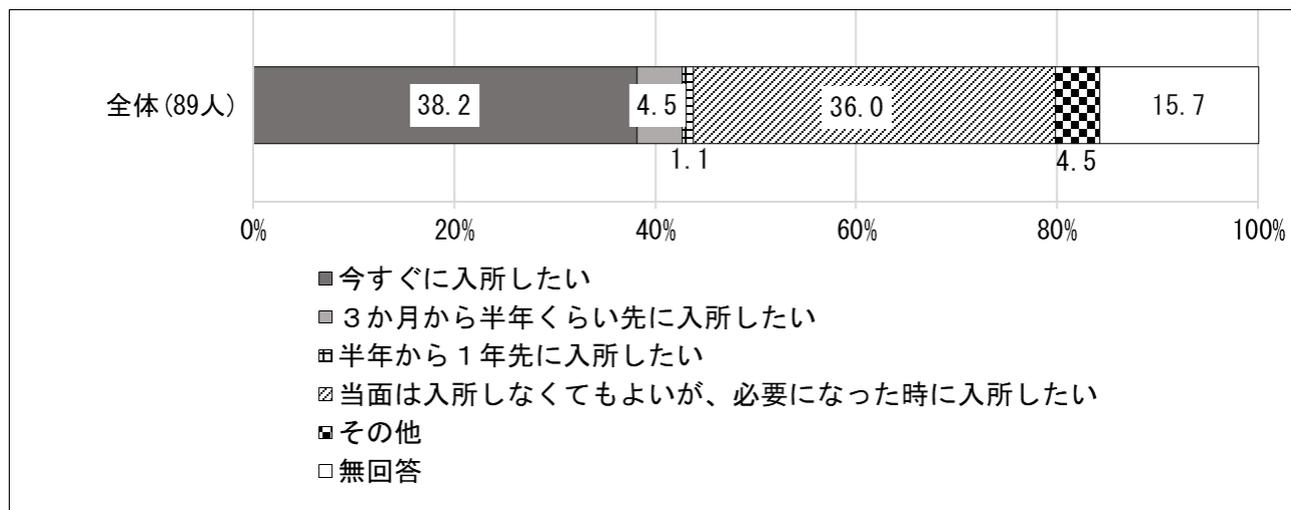
申し込んだ理由は、「専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため」が38.2%と最も高く、「自宅での生活を続けたいが、十分な介護が受けられないため（住まいや介護する人の問題があるなど）」が30.3%、「特別養護老人ホーム以外の施設や病院等に入所（入院）中だが、経済的な負担が大きいため」が29.2%、「自宅で介護している家族の身体的、精神的負担が大きいため」が20.2%と続いています。

申し込んだ最も大きな理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設や病院等に入所（入院）中だが、経済的な負担が大きいため」が21.3%と最も高く、「専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため」と「自宅で介護している家族の身体的、精神的負担が大きいため」がそれぞれ13.5%、「自宅での生活を続けたいが、十分な介護が受けられないため（住まいや介護する人の問題があるなど）」が9.0%と続いています。



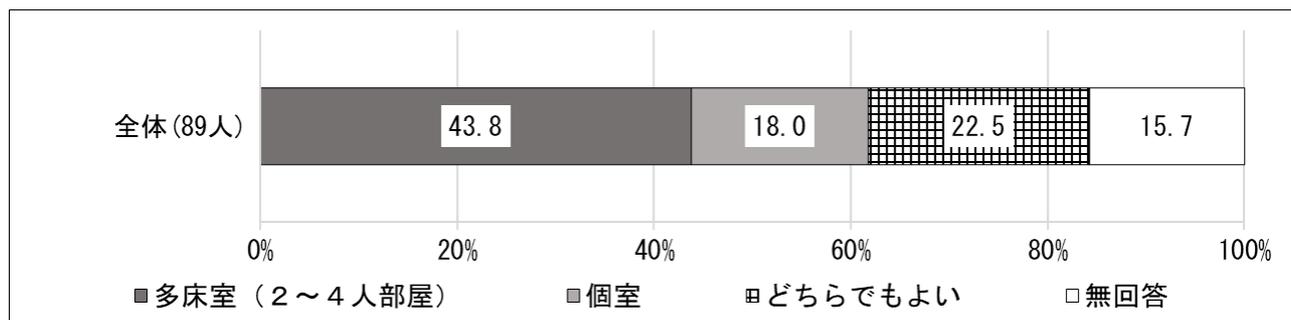
### ■ 入所したい時期（〇はひとつ）【問3-5】

「今すぐに入所したい」が38.2%と最も高く、「当面は入所しなくてもよいが、必要になった時に入所したい」が36.0%、「3か月から半年くらい先に入所したい」が4.5%と続いています。



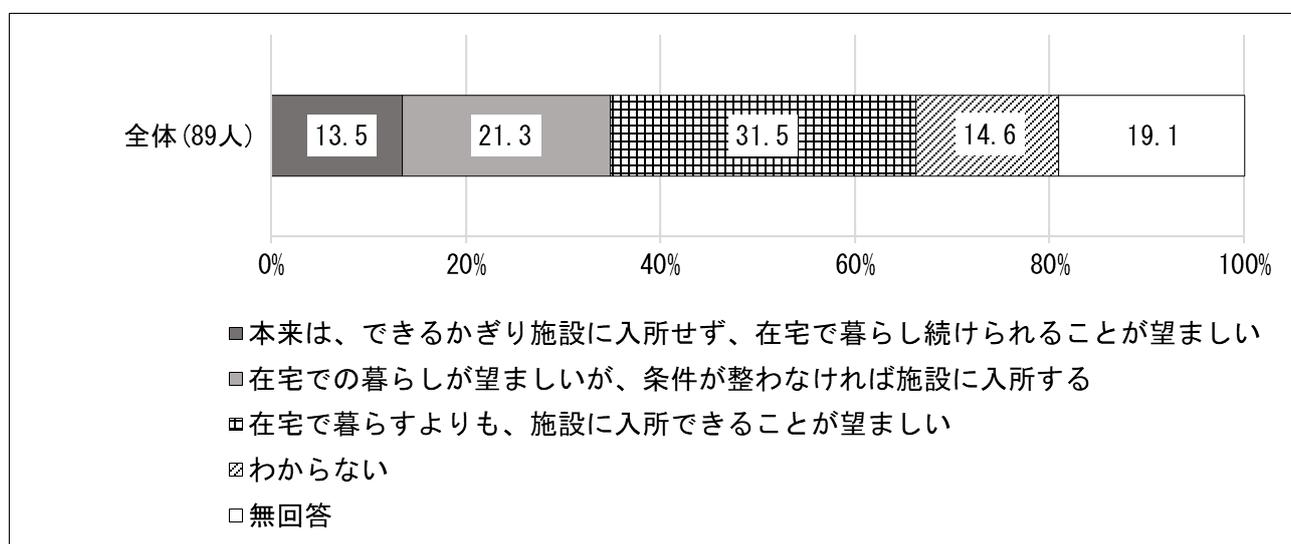
### ■ 入所を希望する居室のタイプ（〇はひとつ）【問3-6】

「多床室（2～4人部屋）」が43.8%と最も高く、「どちらでもよい」が22.5%、「個室」が18.0%と続いています。



### ■ ご本人の施設入所に対する考え（〇はひとつ）【問3-11】

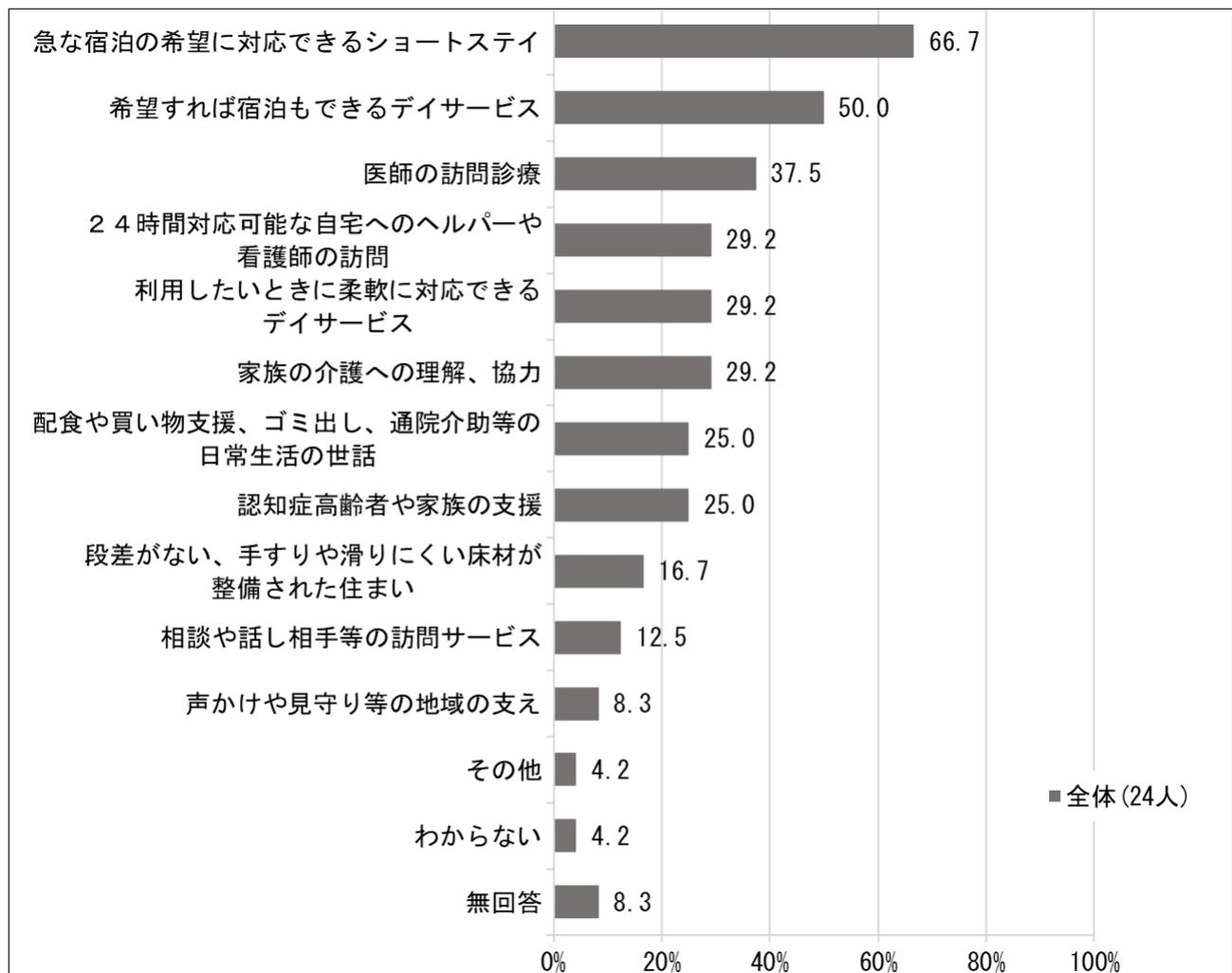
「在宅で暮らすよりも、施設に入所できることが望ましい」が31.5%と最も高く、「在宅での暮らしが望ましいが、条件が整わなければ施設に入所する」が21.3%、「本来は、できるかぎり施設に入所せず、在宅で暮らし続けられることが望ましい」が13.5%と続いています。また「わからない」との回答が14.6%となっています。



## 問4 自宅での暮らしについて（現在のお住まいが自宅の方への設問）

### ■ 自宅で安心して暮らすことができるために必要なサービス（〇はいくつでも）【問4－2】

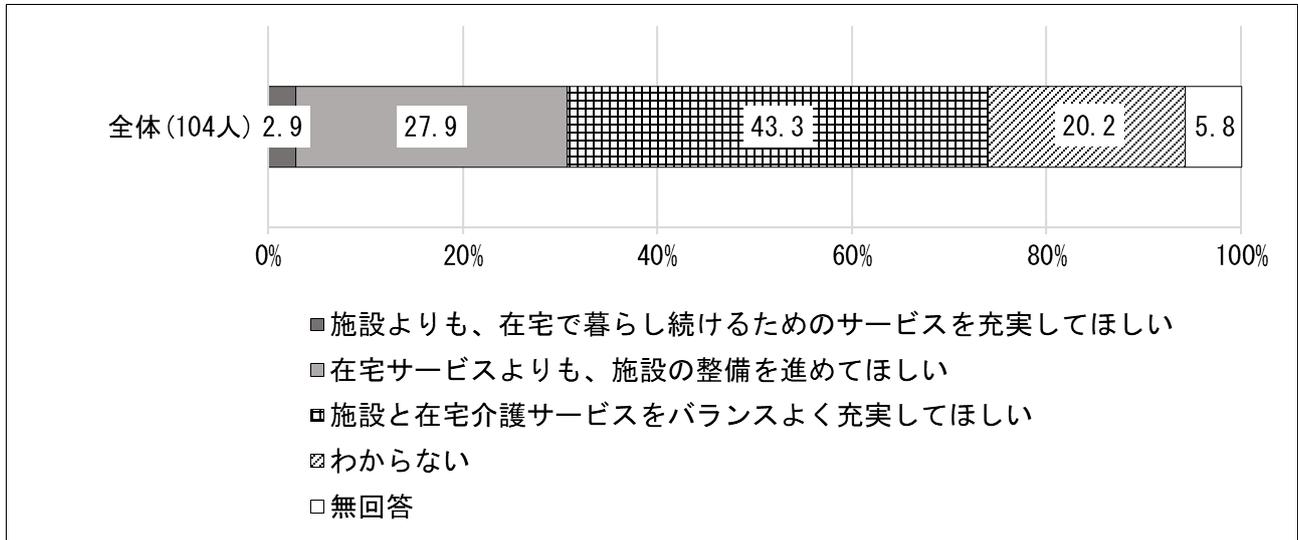
「急な宿泊の希望に対応できるショートステイ」が 66.7%と最も高く、「希望すれば宿泊もできるデイサービス」が 50.0%、「医師の訪問診療」が 37.5%と続いています。



## 問5 今後の介護サービスの充実について

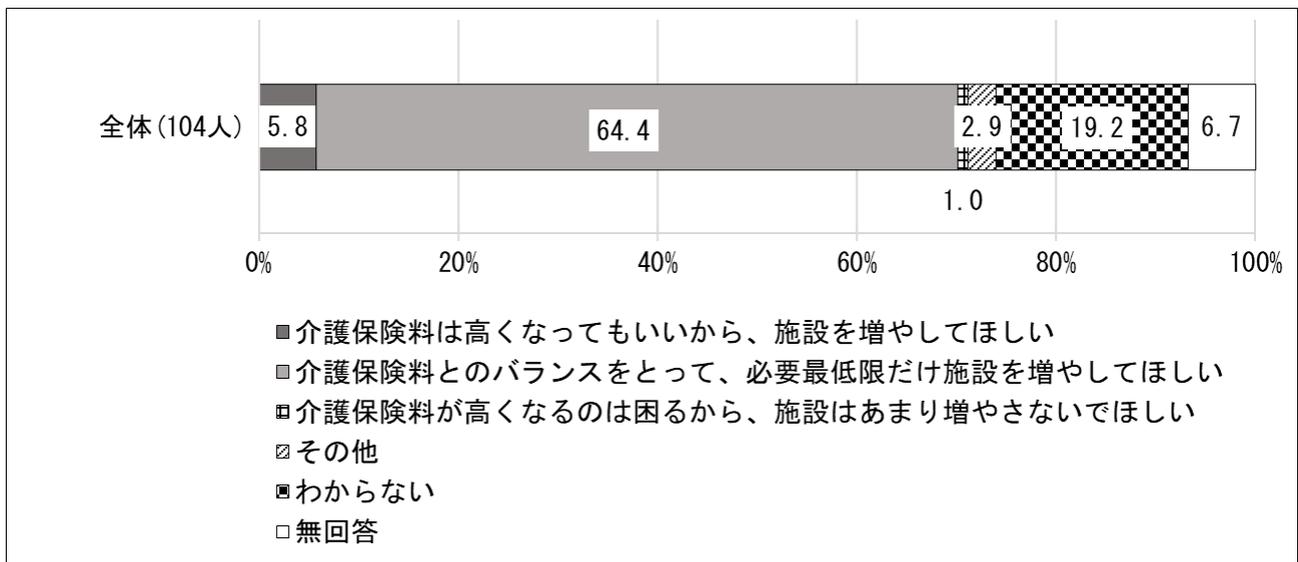
### ■ 君津市の介護サービスの整備について（〇はひとつ）【問5-1】

「施設と在宅介護サービスをバランスよく充実してほしい」が43.3%と最も高く、「在宅サービスよりも、施設の整備を進めてほしい」が27.9%、「施設よりも、在宅で暮らし続けるためのサービスを充実してほしい」が20.2%と続いています。また「わからない」との回答が2.9%となっています。



### ■ 介護保険料と特別養護老人ホームの整備に関する考え方（〇はひとつ）【問5-2】

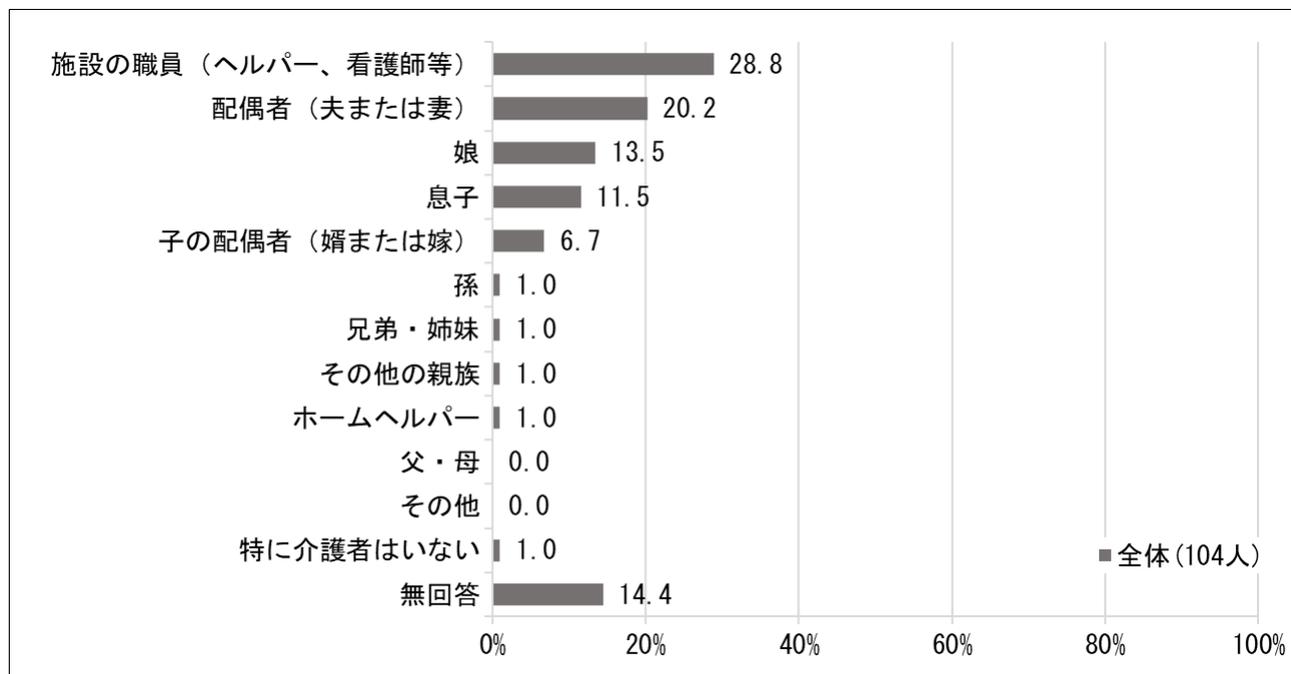
「介護保険料とのバランスをとって、必要最低限だけ施設を増やしてほしい」が64.4%と最も高く、「わからない」が19.2%、「介護保険料は高くなっていいから、施設を増やしてほしい」が5.8%と続いています。



## 問6 介護をしている方（介護者）について

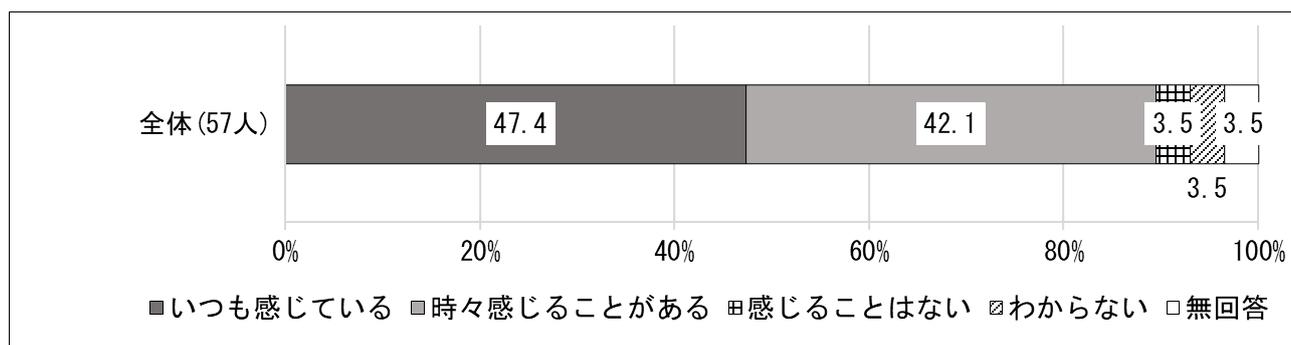
### ■ ご本人の介護を主に（一番長い時間）行っている方（〇はひとつ）【問6-1】

「施設の職員（ヘルパー、看護師等）」が 28.8%と最も高く、「配偶者（夫または妻）」が 20.2%、「娘」が 13.5%、「息子」が 11.5%と続いています。



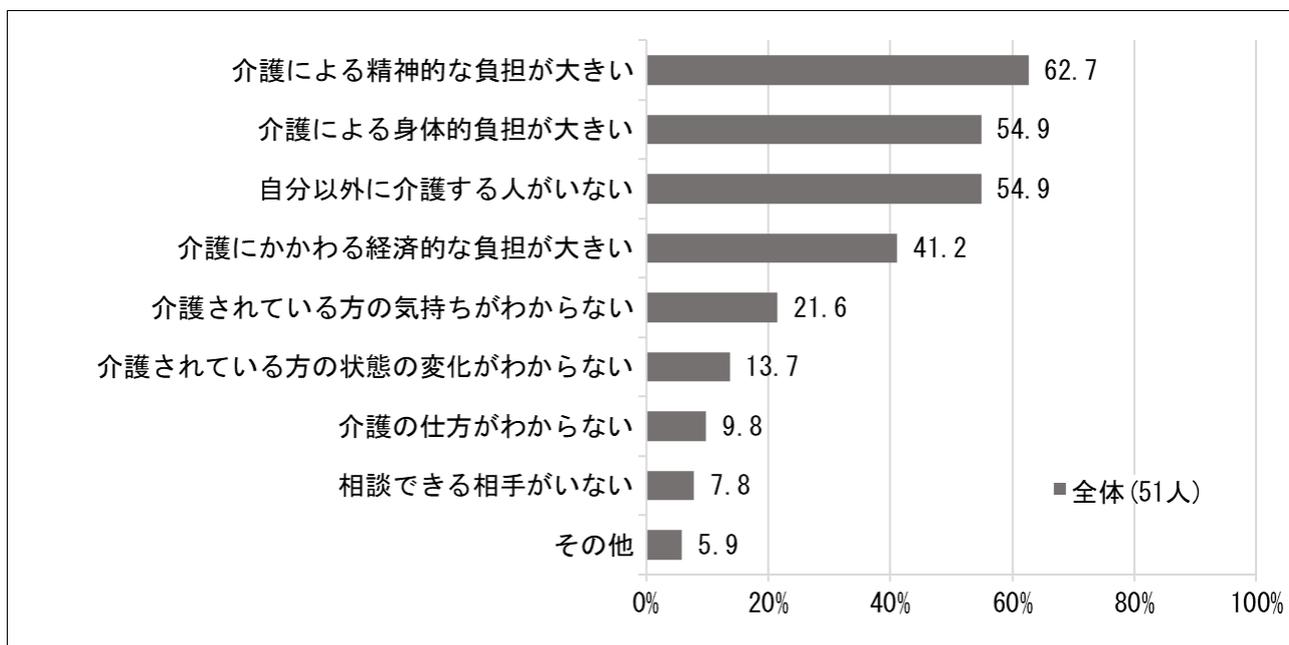
### ■ 介護に負担や悩みを感じること（〇はひとつ）【問6-5】

「いつも感じている」が 47.4%と最も高く、「時々感じることもある」が 42.1%、「感じることはない」と「わからない」がそれぞれ 3.5%と続いています。



## ■ 負担や悩みを感じること（〇はいくつでも）【問6-5-1】

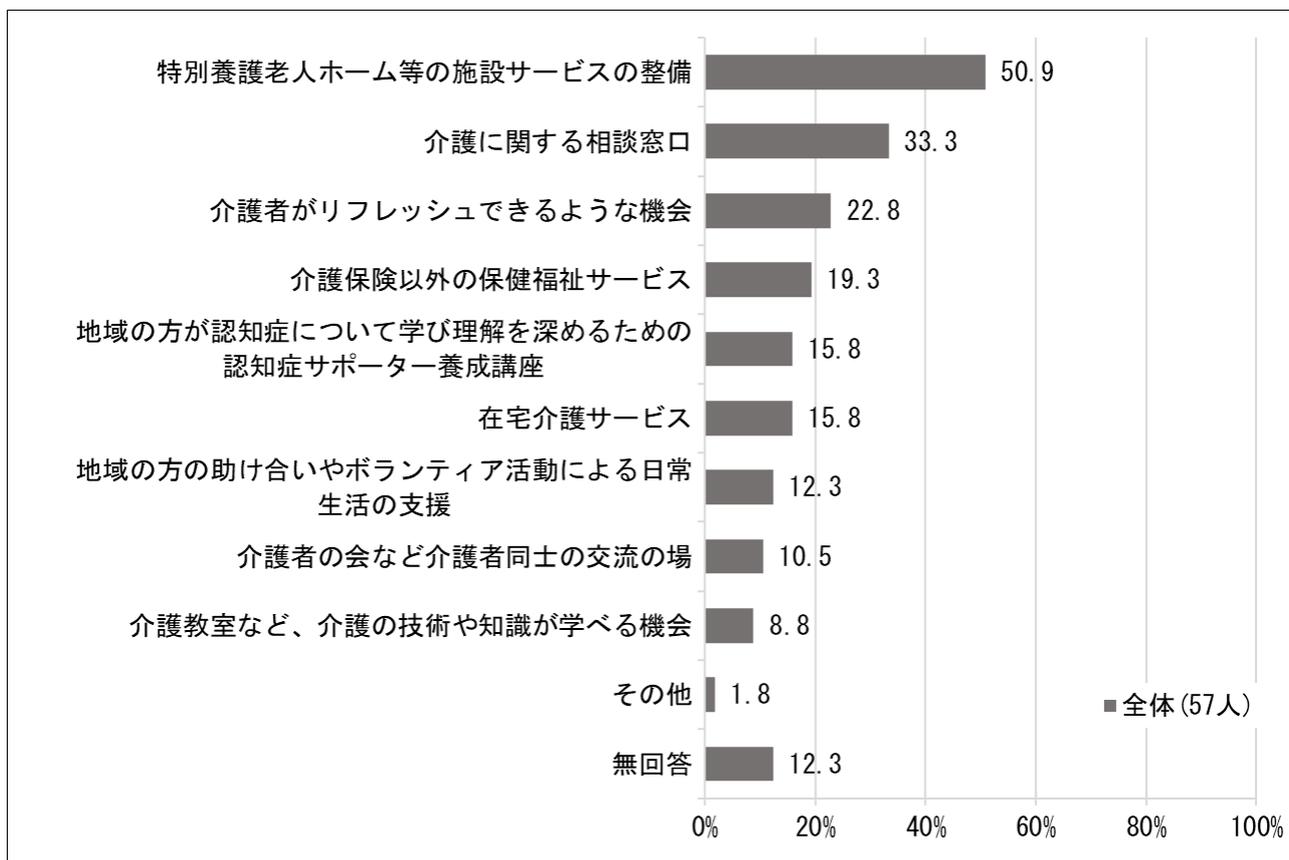
「介護による精神的な負担が大きい」が62.7%と最も高く、「介護による身体的負担が大きい」と「自分以外に介護する人がいない」がそれぞれ54.9%、「介護にかかわる経済的な負担が大きい」が41.2%と続いています。



※問6-5で「いつも感じている」「時々感じることもある」と回答した方が対象

## ■ 介護をするなかで、充実を望むこと（主なもの3つまで）【問6-8】

「特別養護老人ホーム等の施設サービスの整備」が50.9%と最も高く、「介護に関する相談窓口」が33.3%、「介護者がリフレッシュできるような機会」が22.8%、「介護保険以外の保健福祉サービス」が19.3%と続いています。



## (4) 介護サービス事業者実態調査

### 問2 介護サービス提供の現状と今後の意向について

#### ■ 今後（令和5年度まで）の意向【問2-1（3）】

「新設したい」は、居宅介護支援・介護予防支援、訪問介護、訪問リハビリテーション、短期入所生活介護、介護医療院、定期巡回・随時対応型訪問介護看護で各1サービスとなっています。

「拡充したい」は、居宅介護支援・介護予防支援で8サービス、福祉用具貸与と特定福祉用具販売で各4サービス、訪問介護と居宅療養管理指導で各3サービスなど、合計で34サービスとなっています。

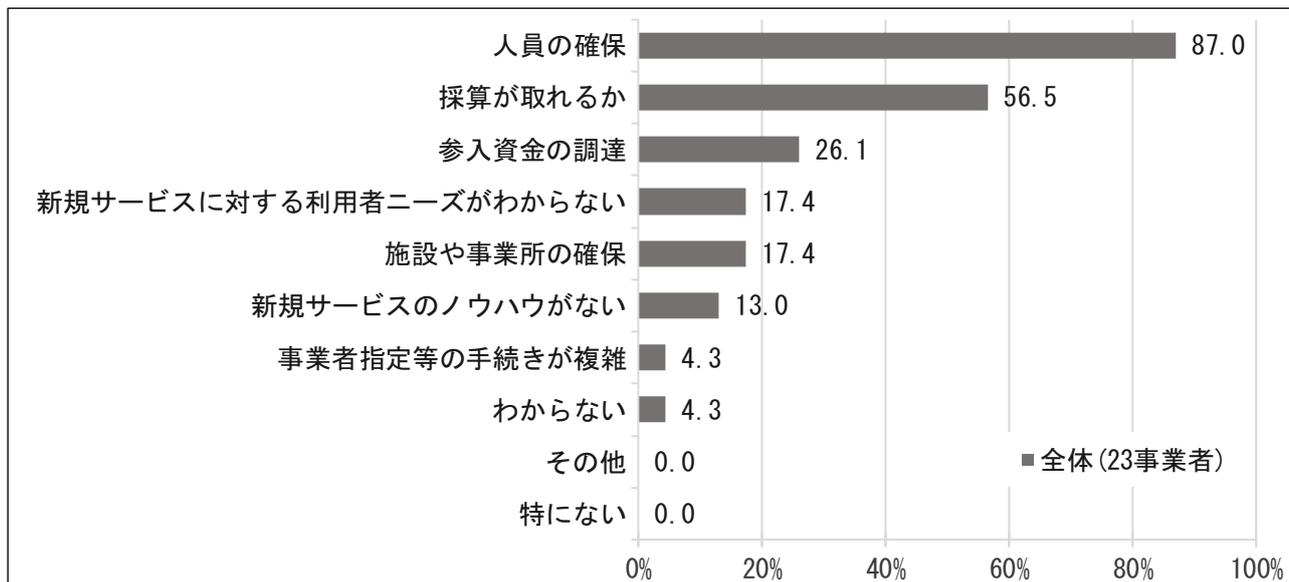
「縮小したい」は、訪問介護で1サービス。「廃止したい」は、居宅介護支援・介護予防支援で1サービスとなっています。

サービス種別	今後（～令和5年度まで）の意向					合計
	新設したい	拡充したい	現状維持	縮小したい	廃止したい	
居宅介護支援・介護予防支援	1	8	9	0	1	19
訪問介護	1	3	4	1	0	9
訪問入浴介護	0	1	0	0	0	1
訪問看護	0	1	2	0	0	3
訪問リハビリテーション	1	2	0	0	0	3
通所介護	0	0	9	0	0	9
通所リハビリテーション	0	1	3	0	0	4
福祉用具貸与	0	4	2	0	0	6
特定福祉用具販売	0	4	1	0	0	5
住宅改修	0	2	2	0	0	4
居宅療養管理指導	0	3	3	0	0	6
短期入所生活介護	1	0	3	0	0	4
短期入所療養介護	0	1	1	0	0	2
特定施設入居者生活介護	0	0	1	0	0	1
介護老人福祉施設	0	0	3	0	0	3
介護老人保健施設	0	1	1	0	0	2
介護医療院	1	0	0	0	0	1
夜間対応型訪問介護	0	1	0	0	0	1
認知症対応型通所介護	0	1	0	0	0	1
地域密着型通所介護	0	1	5	0	0	6
認知症対応型共同生活介護	0	0	1	0	0	1
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0	0	1	0	0	1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0	0	0	0	1
小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	0	0	0	0	0	0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0					0
療養通所介護	0					0
合計	6	34	51	1	1	93

単位：サービス

## ■ 新規事業に参入する際に課題となること（〇はいくつでも）【問2-3】

「人員の確保」が87.0%と最も高く、「採算が取れるか」が56.5%、「参入資金の調達」が26.1%、「新規サービスに対する利用者ニーズがわからない」と「施設や事業所の確保」がそれぞれ17.4%と続いています。

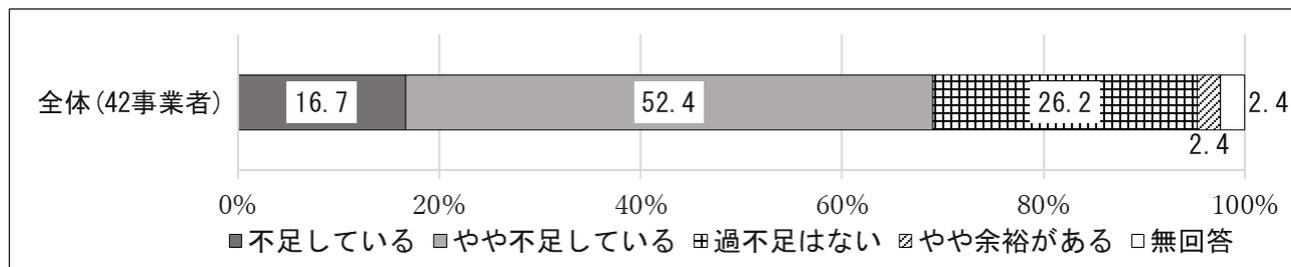


※「無回答」を除いて集計している

## 問3 職員について

### ■ 職員数の過不足について（〇はひとつ）【問3-1】

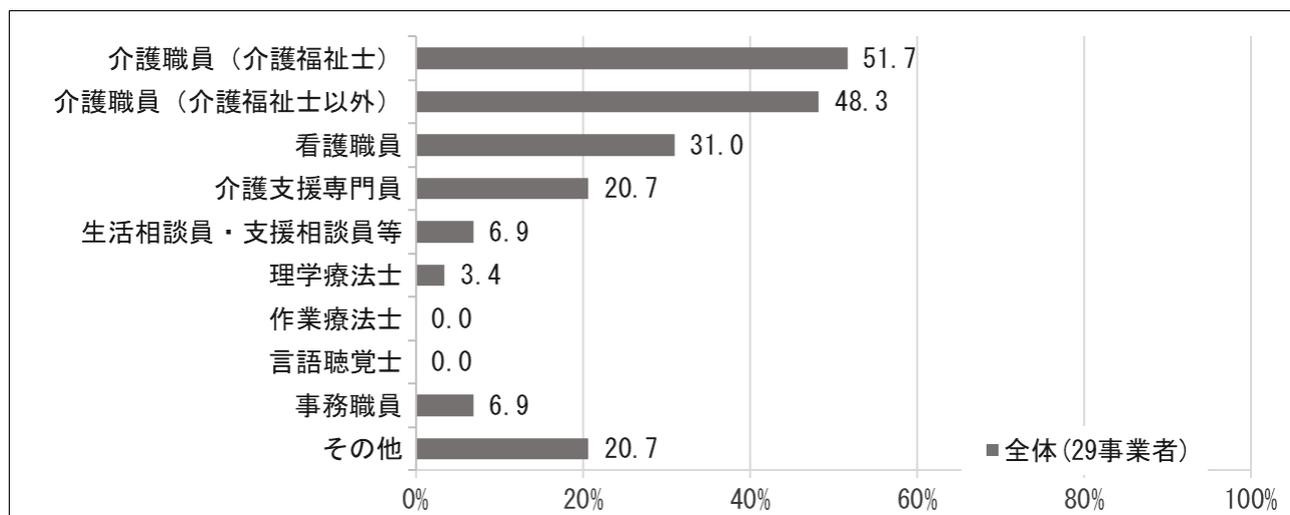
「やや不足している」が52.4%と最も高く、「不足している」の16.7%を合わせると約7割（69.1%）となっています。また、「過不足はない」が26.2%、「やや余裕がある」が2.4%となっています。



※「余裕がある」との回答はみられない

## ■ 不足している職種（〇はいくつでも）【問3-3】

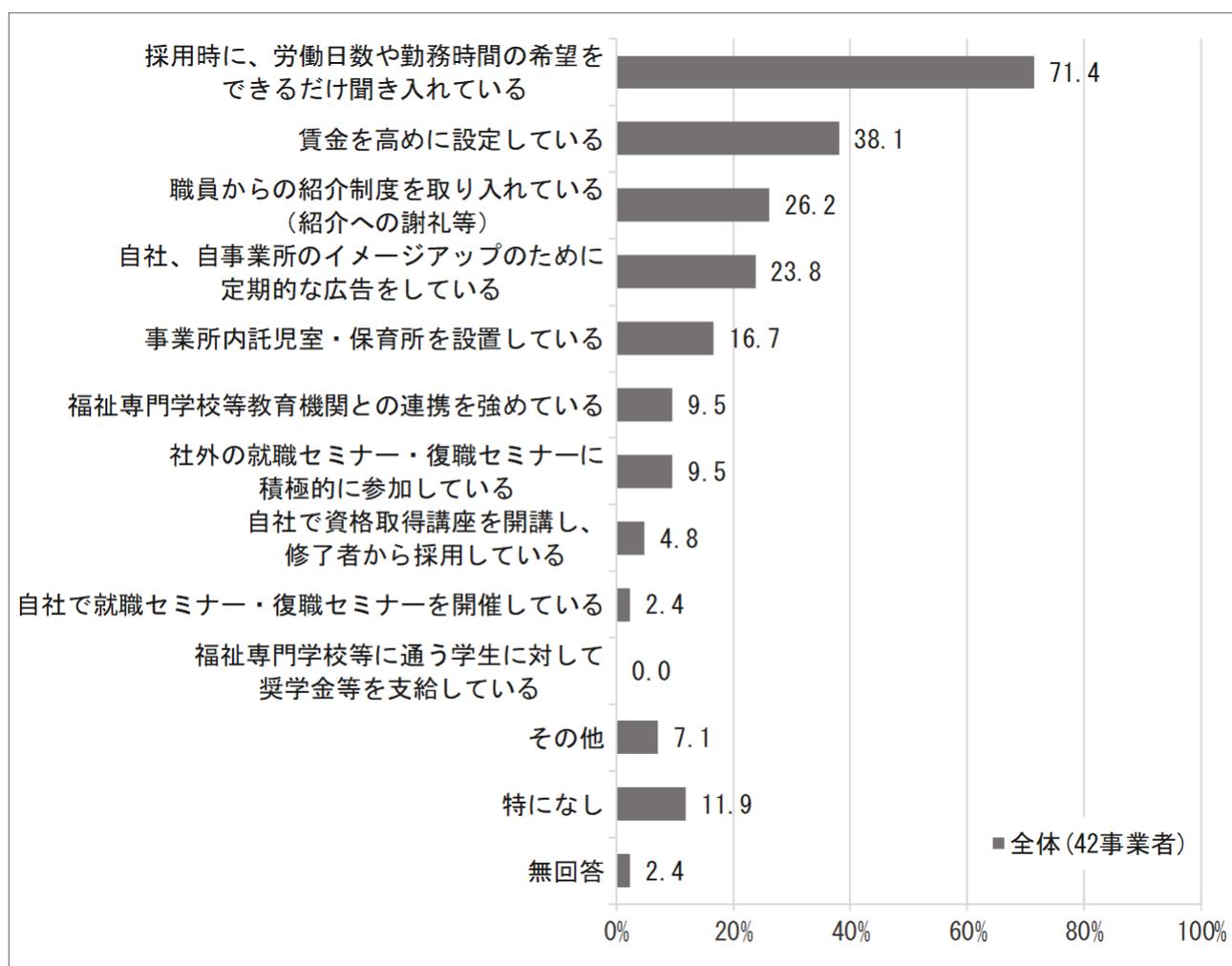
「介護職員（介護福祉士）」が51.7%と最も高く、「介護職員（介護福祉士以外）」が48.3%、「看護職員」が31.0%、「介護支援専門員」が20.7%と続いています。



※問3-1で「(職員数が) 不足している」「やや不足している」と回答した事業者が対象

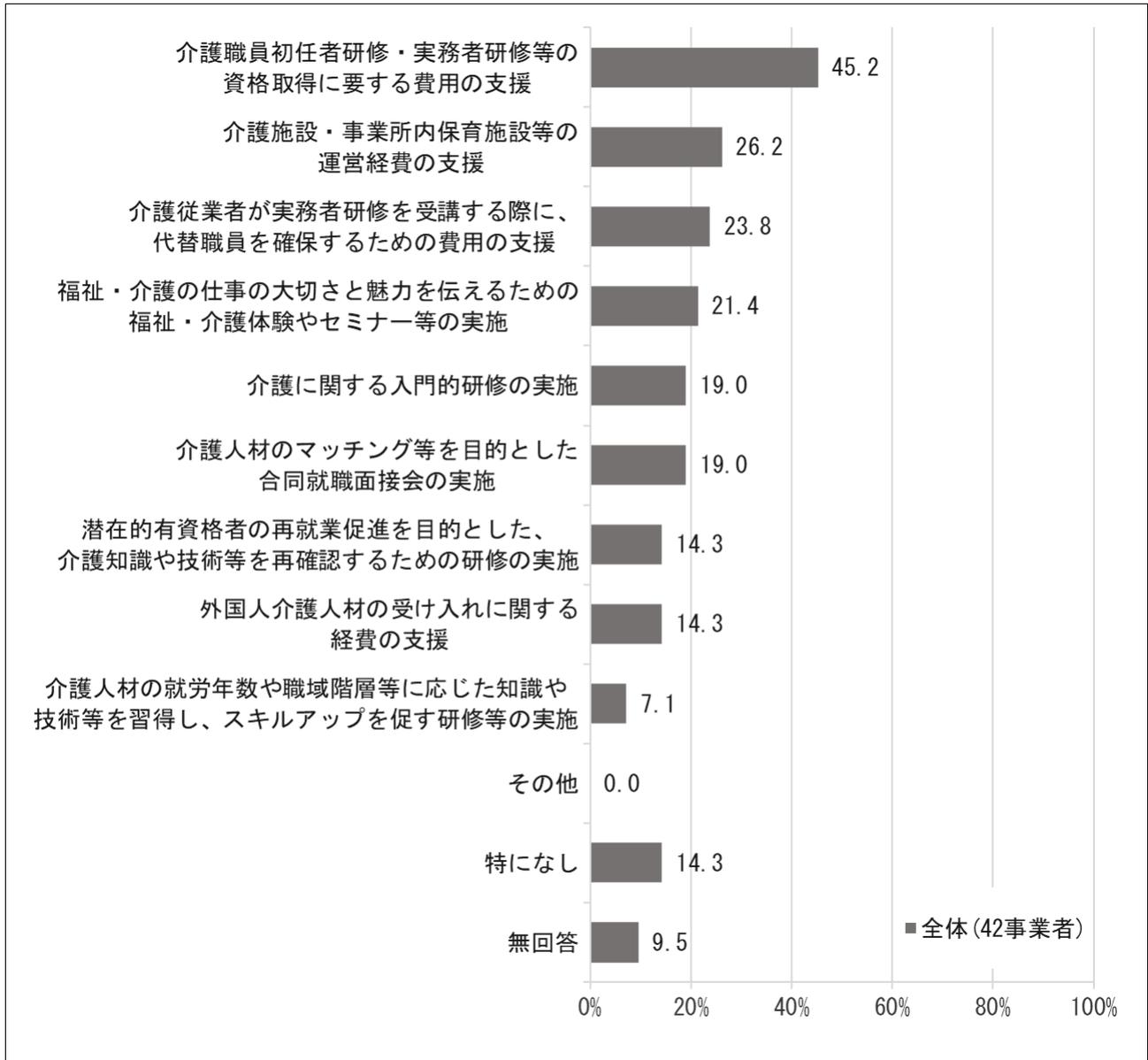
## ■ 人材確保に向けた取り組み（〇はいくつでも）【問3-5】

「採用時に、労働日数や勤務時間の希望をできるだけ聞き入れている」が71.4%と最も高く、「賃金を高めに設定している」が38.1%、「職員からの紹介制度を取り入れている（紹介への謝礼等）」が26.2%、「自社、自事業所のイメージアップのために定期的な広告をしている」が23.8%と続いています。



■ 介護人材の確保や定着などに向けて、あると良い行政の支援（〇はいくつでも）【問3-10】

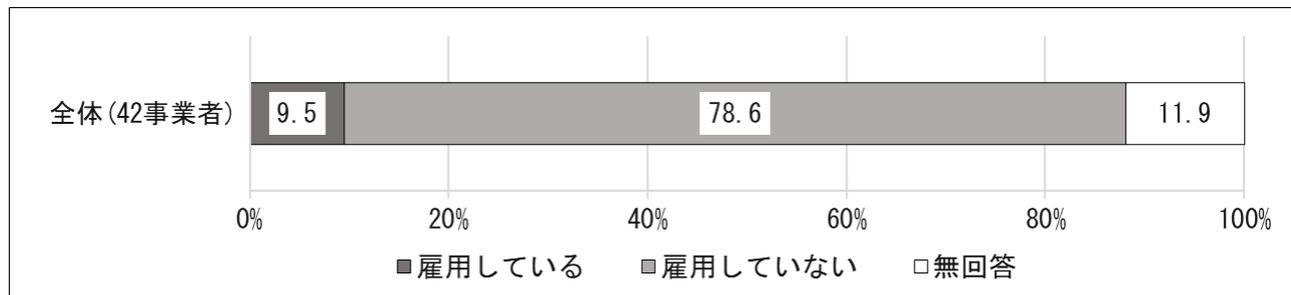
「介護職員初任者研修・実務者研修等の資格取得に要する費用の支援」が45.2%と最も高く、「介護施設・事業所内保育施設等の運営経費の支援」が26.2%、「介護従業者が実務者研修を受講する際に、代替職員を確保するための費用の支援」が23.8%、「福祉・介護の仕事の大切さと魅力を伝えるための福祉・介護体験やセミナー等の実施」が21.4%と続いています。



## 問4 外国人介護人材について

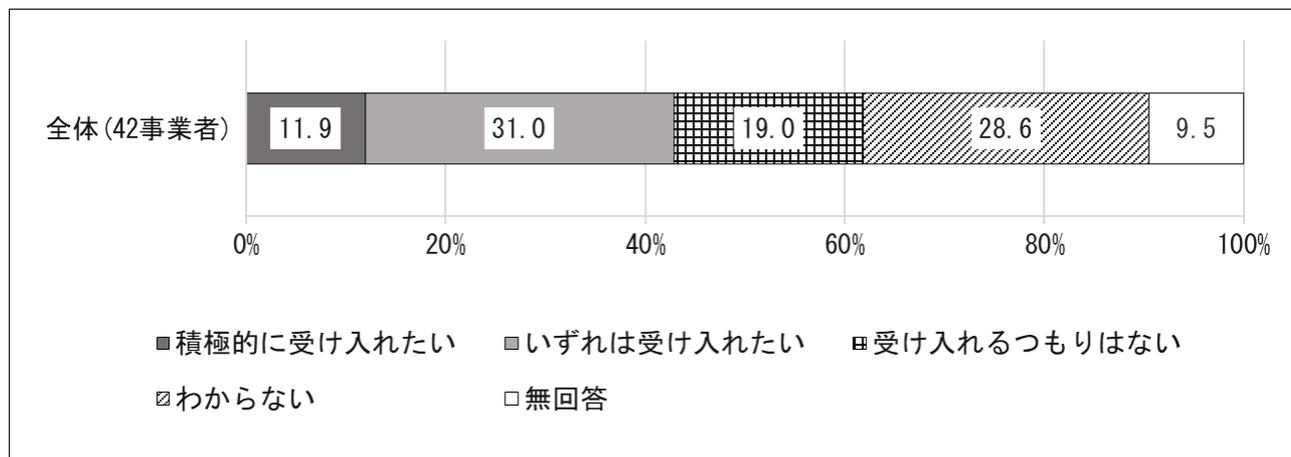
### ■ 外国人介護人材の雇用（〇はひとつ）【問4-1】

「雇用している」が9.5%、「雇用していない」が78.6%となっています。



### ■ 外国人介護人材の今後の受け入れ（〇はひとつ）【問4-3】

「いずれは受け入れたい」が31.0%と最も高く、「積極的に受け入れたい」の11.9%を合わせると約4割（42.9%）となっています。また、「受け入れるつもりはない」が19.0%、「わからない」が28.6%となっています。

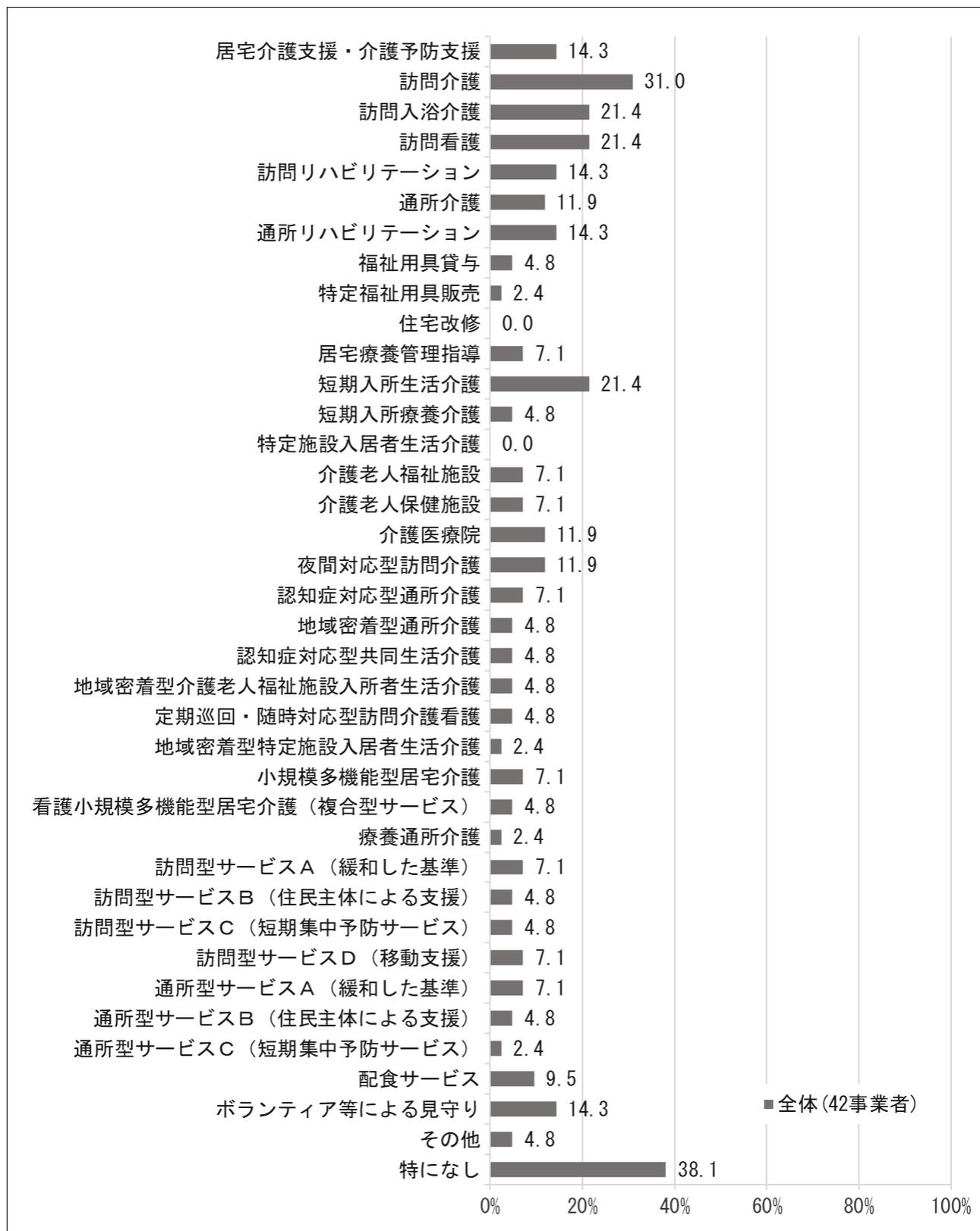


## 問5 君津市の介護サービス・高齢者向け福祉施策について

### ■ 不足しているまたは今後不足すると感じている介護サービス【問5-1(1)】

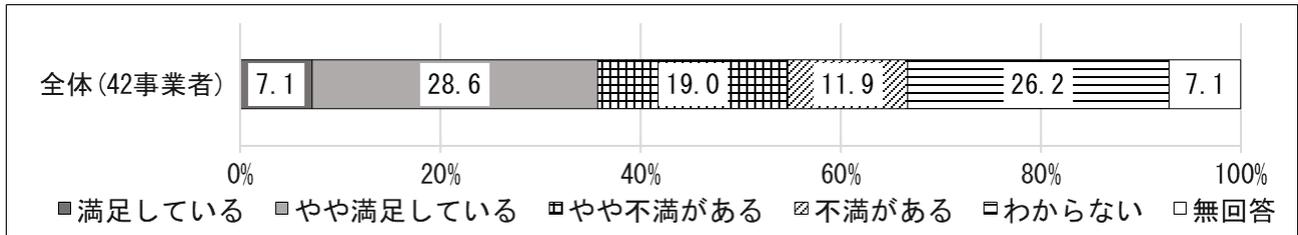
「訪問介護」が31.0%と最も高く、次いで「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「短期入所生活介護」がそれぞれ19.0%と続いています。

施設サービスや地域密着型サービスと比べて、居宅サービスの不足感が強いことが読み取れます。



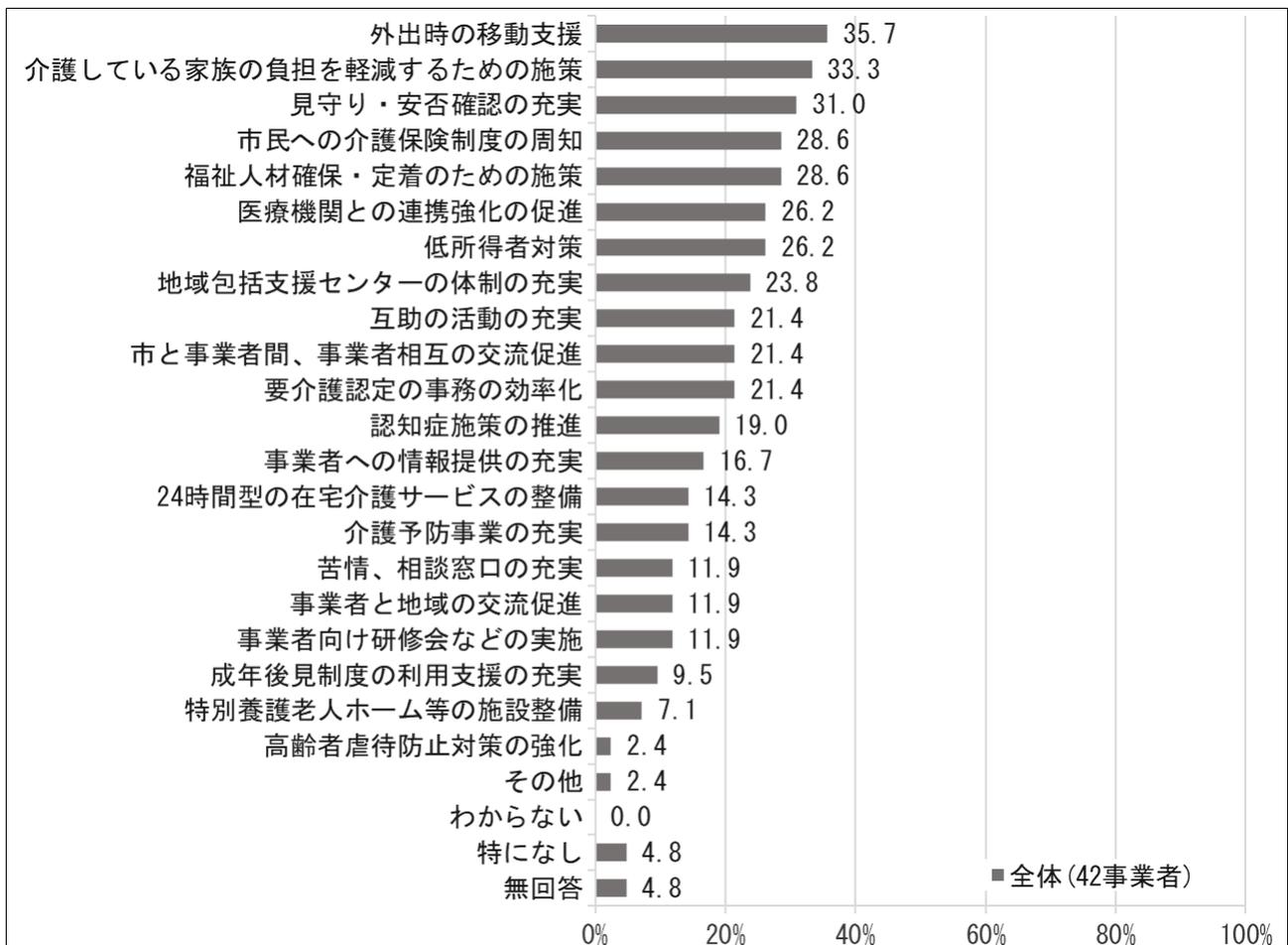
## ■ 君津市の高齢者向け福祉施策の評価（〇はひとつ）【問5-2】

「やや満足している」が28.6%と最も高く、「満足している」の7.1%を合わせると満足率は35.7%となっています。この割合は、「不満がある」と「やや不満がある」の合計割合を上回っています。



## ■ 君津市の高齢者向け福祉施策に必要なこと（特に必要と思われること5つまでに〇）【問5-3】

「外出時の移動支援」が35.7%と最も高く、「介護している家族の負担を軽減するための施策」が33.3%、「ひとり暮らし高齢者等に対する見守り・安否確認の充実」が31.0%、「市民への介護保険制度の周知」と「福祉人材確保・定着のための施策」がそれぞれ28.6%と続いています。



※「見守り・安否確認の充実」は「ひとり暮らし高齢者等に対する見守り・安否確認の充実」、「医療機関との連携強化の促進」は「医療機関との連携強化の促進（在宅医療・介護連携等）」、「互助の活動の充実」は「地域住民等を中心とした互助の活動（生活支援・サロンの開設等）の充実」、「事業者への情報提供の充実」は「事業者への介護保険制度等に関する情報提供の充実」、「24時間型の在宅介護サービスの整備」は「介護・看護が連携した24時間型の在宅介護サービスの整備」、「介護予防事業の充実」は「要介護状態にならないための介護予防事業の充実」の略

## 問6 地域包括ケアシステムの構築に向けた課題について

### ■ 地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組むべき課題【問6-1】

#### ①医療・介護の連携強化（自由記述）

- 利用者様の医療情報不足。Drと連絡を取ればよいか
- 病院内では介護保険が使えないにもかかわらず、透析室では介保ヘルパーに様々なことを指示する。本来はHPの仕事である
- 在宅医が少ないため往診されても夜間帯になることがある（老夫婦では対応に困る）
- 共働き・核家族化の進む現在、最後まで在宅ケアすることは不可能だと思います
- 医師、歯科医師、薬剤、看護、PT、OT、ST、ヘルパー、CM、地域ケア会議の推進。認知症初期集中支援チーム機能も強化
- 情報の優先順位を統一。その他本人の生活環境で整理、内容を簡潔化が必要（情報を多く渡しても見てもらわなければ意味がなくなるので）
- 往診、訪問診療を行う病院、医師が少ない。訪問診療を行っている診療所と連携がとりにくい。医師がアルバイトなので、責任を持ってない、などの発言もあり、不安
- 地域（日常生活圏域）に病院、診療所がない。移動手段もない
- 在宅医療に関して、住民に周知されていないので利用の仕方もわからない人が多い
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）
- ICT等を盛り込んだ体制の構築

#### ②介護サービスの充実強化（自由記述）

- ニーズはあるが人材が足りなすぎる。本来は建物に金を使うのではなく、人材に金を使うべきだ
- 厳しいからと在宅にシフトすることは労働人口の減少している日本において家庭における負担が増えるだけで間違いだと思います
- 定期巡回随時対応型訪問介護の活用が困難。足りていない
- 山間部等、なかなかサービスが入りにくいところには行政からの横出しで報酬上乘せでなければ、行く事業者が少なくなり、選択できる状況にはならなくなる
- 介護職員の質の向上が必要
- 市街地の介護サービス・事業者も多いが、山間部には事業者も人材も手薄で必要なサービスが確保できない。特に移動支援
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）

---

### ③介護予防の推進（自由記述）

---

- 事業所の空き時間の活用。活用していることをいかに地域の皆様に理解いただくか
- 体操教室等の充実
- 市民の意識が低いと成果は出ない
- 袖ヶ浦等をモデルに毎月要支援者プランを地域ケア会議にて検討するといひ
- 社会参加型、高齢者の社会貢献型支援施設
- 身体を動かすには、目的が必要になると思うので、「やりがい」を提供。今後は生活が苦しくなる人が多くなるので、少しでも年金の足しになるようなものがあれば、「やりがい＝生きがい」になるのではないか。地域の特産品など。
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）
- 在宅での生活を本人が望んでも、周囲の思惑が優先されるのか、支援を試みることもなしに施設入所ありきではなく取り組みをお願いしたい

---

### ④多様な担い手による生活支援サービスの提供（自由記述）

---

- 近所の方の協力体制
- 多様な担い手は守秘義務を守れないので活用できない。多くの人に関わることで無責任体制ができつつある
- 外出のための送迎。後見人制度。病院の受診付き添い
- 特に高齢者の一人暮らしも増加している時代なので、きちんと効率よくケアするためにはサ高住などに集まっていただいたほうが良いと思います
- 育成には市の補助金が必要。予算を捻出してほしい
- 施設サービスに於けるサービス提供の充実
- 生活支援サービスを NP0、ボランティアで考えるのは、現状厳しい。参加する人も生活が有り、今後の見えない不安から、少しでも資金を効率的に稼ぐ人が多い。それなりの報酬が今後求められてくると思われる
- 地域住民への地域包括ケアシステムの必要性の周知が必要
- 人口密集で可能でも山間地域は高齢者ばかりである。一人の人が何役も担わなければならない
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）

---

### ⑤高齢期になっても住み続けることのできるバリアフリーの高齢者の住まいの整備（自由記述）

---

- サ高住は足りている。サ高住で重症化した人の行き先が今後心配になる
- サ高住は質の良し悪しあり。金銭的に余裕がないと入居もできない
- 自宅のバリアフリー化、健康監視システムによる独居高齢者の生活安全の確保
- 空き家の問題で壊すのも家族には、お金がない人が多いと思われ、以下に使える空き家を利用し、再利用が求められていると思う。サ高住のような施設的環境ではなく、もっとプライベート重視のものがあっても良いと思う（戸建の借家のような感じなど）
- 経済的に余裕がなく、利用できない人が多い
- 資源不足で現実的に考えられない（この地域では）
- 君津市独自のバリアフリー化に対する助成金の設置

## 3 調査結果の要点まとめ

### (1) 在宅介護実態調査

- 今後の在宅生活の継続には、移送サービス（介護・福祉タクシー等）、サロンなどの定期的な通いの場、外出同行（通院、買い物など）を必要する方が比較的多く、単身世帯の場合は「掃除・洗濯」が必要サービスの最上位です。【4・5ページ参照】
- 「就労している介護者は、仕事と介護の両立について「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり厳しい」と回答した方の割合が15.4%となっており、この層の仕事と介護の両立関わる課題を解決するための支援が求められます。【8ページ参照】
- 現在の生活の継続にあたり、主な介護者の方が不安に感じる介護等（「在宅生活の継続が困難」と判断する特に重要なポイント）として、「夜間の排泄」と「認知症状への対応」の2点があげられます。【9ページ参照】

### (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- 外出が週1回以下の「閉じこもり傾向あり」の方が23.0%で、75歳以上では女性で閉じこもり傾向の割合が高くなっています。また、君津地区や小糸地区に比べて、清和地区等で同割合が高い傾向が見られます。【14ページ参照】
- スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度は、君津地区や小糸地区で比較的高く、自治会館等で実施する健康体操への参加頻度は、清和地区で比較的高い結果となっています。【18ページ参照】
- 市の保健・福祉サービスは、「介護支援ボランティア制度」や「災害時における要援護者の避難支援制度」などで比較的低い認知度となっています。また、今後力を入れてほしい施策は家族の負担軽減、介護保険に関する情報提供、在宅サービスの充実、在宅医療の充実に関する意見等が上位に上がり、1人暮らしの場合は低所得者の負担軽減策が最上位です。【23・26ページ参照】

### (3) 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査

- 入所を希望する居室のタイプは「多床室（2～4人部屋）」が43.8%と最も高く、「どちらでもよい」が22.5%、「個室」が18.0%です。【31ページ参照】
- 入所したい時期は、「今すぐに入所したい」をあげる方が最も多くなっていますが、次いで「当面は入所しなくてもよいが、必要になった時に入所したい」が多くなっています。【31ページ参照】
- 介護者が充実を望むことは、約半数の方が「特別養護老人ホーム等の施設サービスの整備」をあげており、次いで「介護に関する相談窓口」をあげる方が比較的多い状況です。【35ページ参照】

### (4) 介護サービス事業者実態調査

- 新規事業に参入する際に課題となることについて、9割近い事業者が「人員の確保」をあげており、職員について「やや不足している」、「不足している」という事業者が約7割です。【37ページ参照】
- 君津市に不足しているまたは今後不足すると感じている介護サービスは、施設サービスや地域密着型サービスと比べて、「訪問介護」、「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「短期入所生活介護」といった居宅サービスの不足感が強いことが読み取れます。【41ページ参照】
- 君津市の高齢者向け福祉施策の満足率は35.7%で、高齢者向け福祉施策に必要なことは、移動支援、介護家族の負担軽減、ひとり暮らし高齢者等に対する見守り・安否確認などが上位にあがっています。【42ページ参照】